

50V型 | 4K ULTRA HD TV | HDR 4K対応液晶テレビ

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

GH-TV50Cシリーズ

最初に「安全上の注意」(P.1)、「同梱品の確認」(P.5)、テレビを取り出す際のご注意(P.5)をご確認ください。

安全上のご注意	1
使用上のお願い	4
テレビを取り出す際のご注意	5
同梱品の確認	5
各部名称	6
リモコンの送信部と受光部について	10
スタンドの取り付け	11
壁掛け金具で取り付ける	12
テレビを設置する	13
テレビ番組を楽しむ	16
データ放送を楽しむ	20
外部入力の画面に切り替える	21
便利な機能を使う	22
文字を入力する	24
録画・予約機能について	26
録画用 USB ハードディスクの接続をする	27
USB ハードディスクの設定をする	28
録画の基本的な設定をする	30
番組を録画する	31
日時を指定して予約をする / 番組を検索して録画・予約をする	32
予約・録画の優先順位と予約の動作について	33
録画した番組を再生する	34
インターネットを利用するための接続をする	36
インターネットを利用するための設定をする	37
チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	39
ご購入時の設定に戻すには	40
メニュー	41
主な仕様	43
よくある問い合わせ (FAQ)	44
故障について	46

修理のご依頼は、弊社テクニカルサポートへご依頼の上、弊社指定住所へお送りいただくセンドバック対応となり、出張修理や同時交換などの個別対応は行っておりませんため、購入時の梱包材は保管しておくことをお勧めいたします。

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

表示の説明

 危険	この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントからプラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険

異常が発生した場合



コンセントからプラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

異音が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音が出なくなったことをご確認の上、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

異臭が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭が出なくなったことをご確認の上、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントからプラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※電源プラグをすぐ抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告

使用について



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社(03-5421-2255)までご相談ください。

電源について



AC100V以外
使用禁止

電源ケーブルは、100ボルト交流電源(AC100V)のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。

日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

本製品では、付属の専用電源コードのみを使用してください。他の製品の電源コードや市販の電源コードなどを使用すると火災や感電の危険があります。

また、付属の専用電源コードを他の製品で使用しないでください。



定期的に
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、電源ケーブルをコンセントから取り外して行ってください。電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

電源ケーブルのコードは、傷つけないでください。ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。



禁止

電源ケーブルに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。破損した電源ケーブルから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、製品に触れないでください。感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コードひっぱり
禁止

電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

アース線の接続は、事前に電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線の取り外しは、事前に電源プラグをコンセントから取り外してから行ってください。感電の危険があります。

設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。
以下の点を守って、安全な場所に設置してください。

- 台を使用して設置する場合は、
 - ・ぐらつきが無い堅固なもの
 - ・設置面が平坦で強度のあるもの
 - ・製品が台の端からはみ出さないものを使用してください。
- 固定されていない背の高い家具（食器棚や書棚など）に設置しないでください。
- 設置面と本製品の間に布などを敷かないでください。
- 製品の操作のために、設置した台や本製品によじ登る危険性をお子様に教育してください。
- 製品の保管・再設置する場合にも上記を守ってください。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用や花瓶など水の入ったものを上に置いたりすると、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れしないでください。
火災の危険があります。



禁止

水や異物を入れしないでください。
火災の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。

電池について



禁止

電池を直射日光や火のそばなど高温になる場所や極端に低い気圧になる場所に置かないでください。
破裂や爆発、液漏れやガス漏れなどを起こす場合があります。



禁止

電池は以下の点を守って安全に取り扱ってください。
取り扱いを誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、火災や周囲の汚染などの原因となります。
また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

- 指定以外の電池を使わないでください。
- 乾電池を充電しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは取り出してください。
- 新しい電池と使用した電池を混ぜないでください。
- 種類の違う電池を混ぜないでください。
- 電池を傷つけたり、分解したりしないでください。
- 電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
- 電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 電池を乳幼児に取り出せないようにしてください。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察を受けてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- ・製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ・電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- ・製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- ・電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
- ・視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- ・疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- ・映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- ・本製品は、24時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：液晶パネル、バックライト、電源ユニット)

製品のお手入れについて

- ・お手入れの際は、事前に電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- ・汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ・ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- ・化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ・ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ・強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ・殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ・ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- ・シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

製品の温度について

- ・密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。

結露(つゆつき)について

- ・温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- ・結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- ・結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- ・寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- ・磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- ・電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- ・磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- ・長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

免責事項

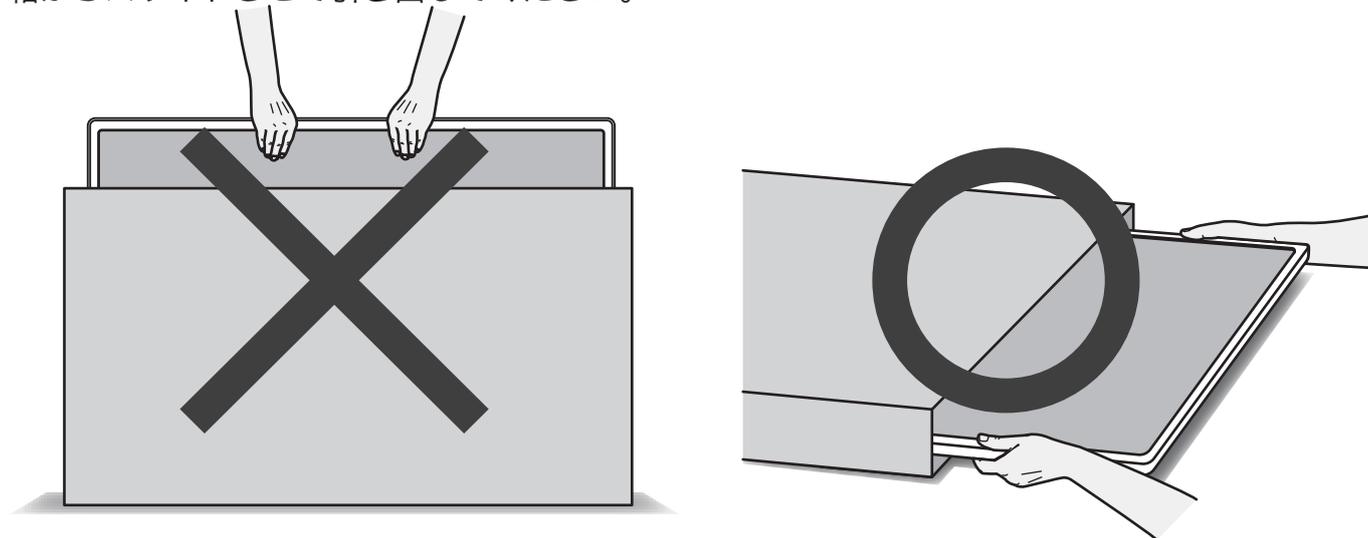
- ・取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

テレビを取り出す際のご注意

テレビ本体は重量があるため、箱からそのまま垂直にテレビを取り出そうとすると、落下によるケガや破損する危険があります。

また、テレビの外縁部や液晶パネル部を握りしめて持ち上げることによって、圧力により液晶パネルが破損する危険があります。

テレビを取り出す際は、箱を寝かせた状態でテレビの下部もしくはサイドを持ち、握りしめずに箱からスライドさせて引き出してください。



同梱品の確認

パッケージの中に下記のものが入っているか、ご確認ください。

- 液晶テレビ本体
- 専用リモコン
- リモコン用乾電池(単4形乾電池×2)
- 専用電源コード×1本
- 3in1 AVケーブル
- miniB-CASカード
- miniB-CASカードカバー
- miniB-CASカードカバー用ネジ
- 取扱説明書
- 保証書
- 組み立て式テレビスタンド×2本
- テレビスタンド取付用ネジ×6本
- VESAマウント用ねじM6×25mm x4本(本体背面のネジ穴に取り付けられています)

※アンテナケーブルは付属しておりませんので、別途ご用意ください。

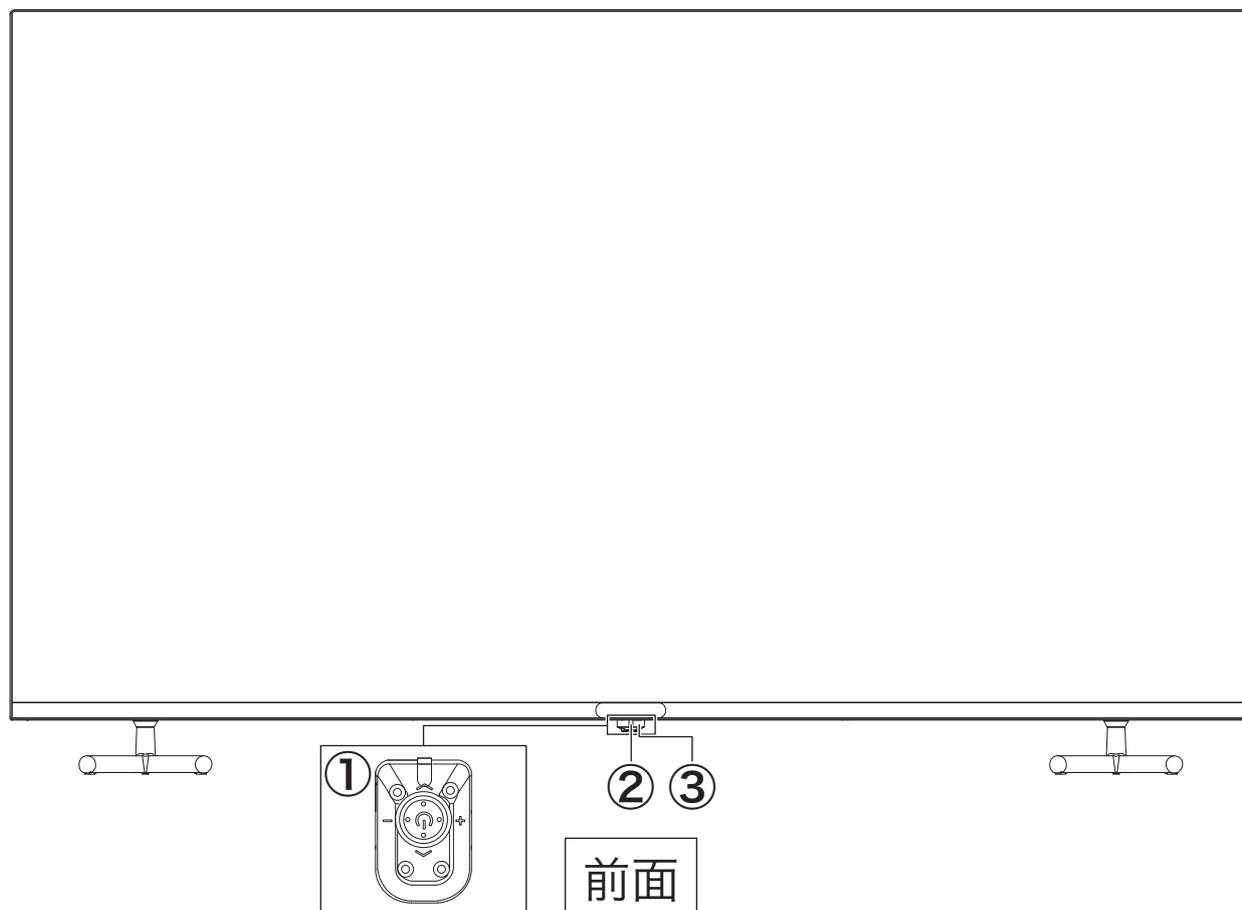
※テレビスタンドの取り付けには、プラスドライバーが必要ですので、別途ご用意ください。



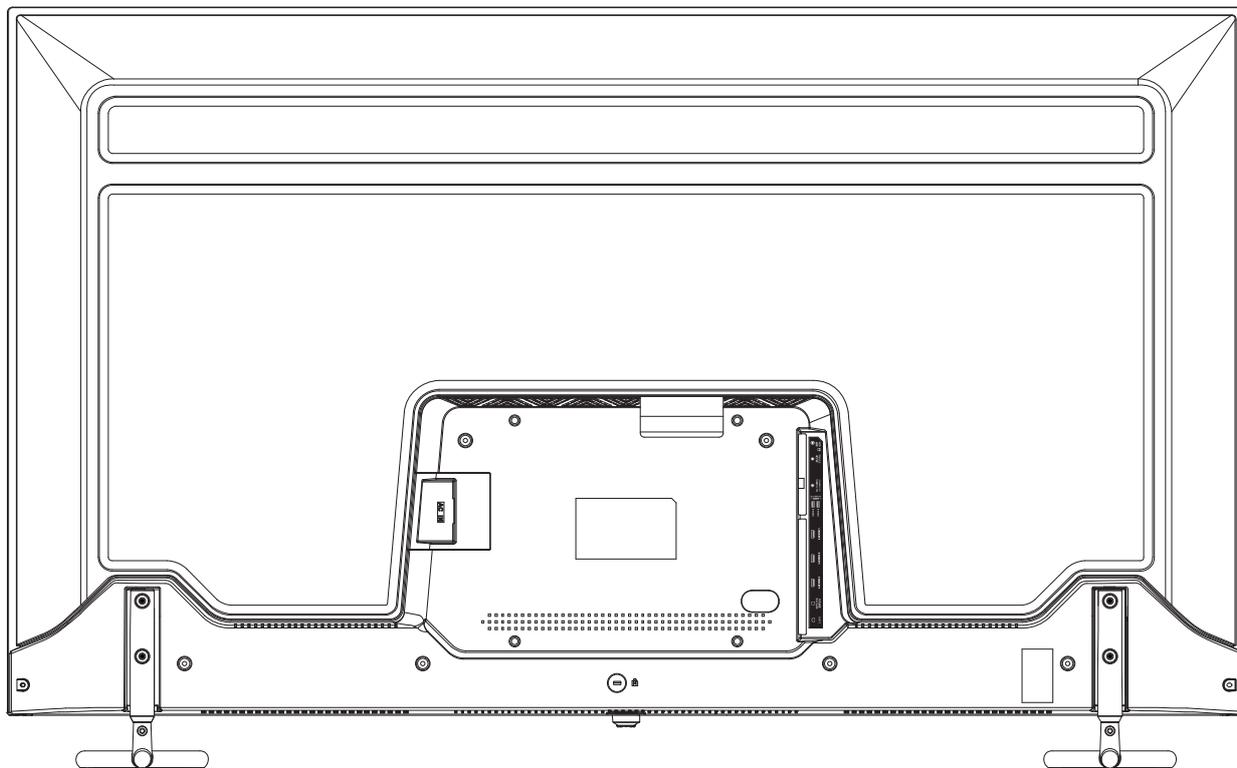
- 付属品のお買い求めは『グリーンハウスストア』をご確認ください。
グリーンハウスストア ホームページ (<https://www.greenhouse-store.jp/>)

各部名称

本体

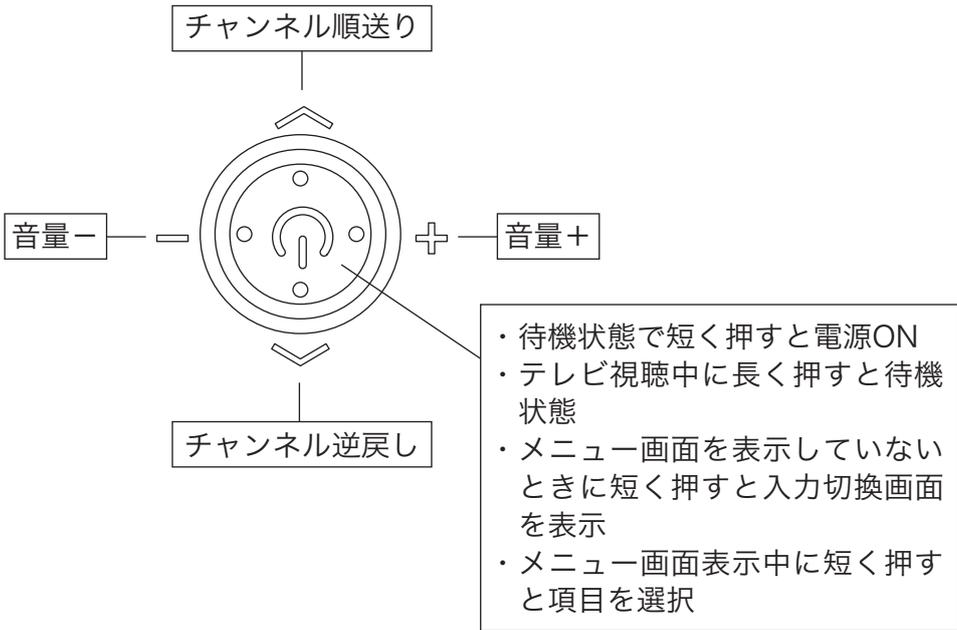


- ① マルチ操作ボタン
- ② リモコン受光部
- ③ 電源 LED

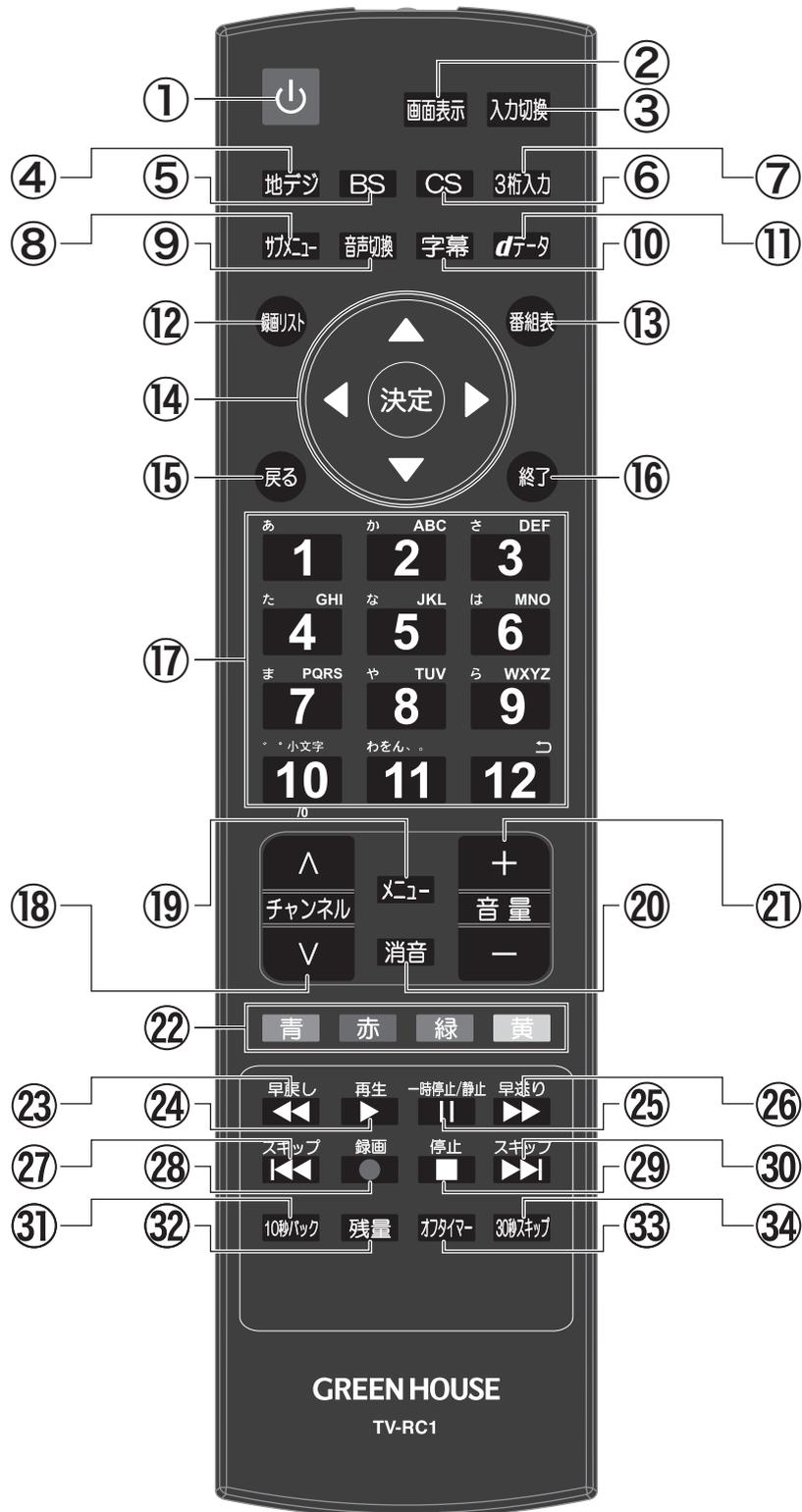


背面

マルチ操作ボタンの機能



リモコン



- ① **電源**
電源のオン・待機を切り替えます。
- ② **画面表示**
現在視聴している番組の情報と現在時刻を表示します。
- ③ **入力切換**
表示する映像を
テレビ放送/HDMI1/HDMI2/HDMI3/ビデオに切り替えます。
- ④ **地デジ**
視聴する映像を地上デジタル放送に切り替えます。
- ⑤ **BS**
視聴する映像をBS放送に切り替えます。
- ⑥ **CS**
視聴する映像をCS放送に切り替えます。
- ⑦ **3桁入力**
チャンネル切替を3桁の番号指定で行います。
- ⑧ **サブメニューボタン**
サブメニュー画面を表示します。
- ⑨ **音声切換ボタン**
音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。
- ⑩ **字幕ボタン**
字幕を表示します。
- ⑪ **dデータボタン**
データ放送を表示します。
- ⑫ **録画リスト**
メディアプレーヤー録画一覧を表示します。
- ⑬ **番組表**
番組表を表示します。
- ⑭ **▲▼◀▶ 決定**
カーソルの選択、決定に使用します。
- ⑮ **戻る**
メニュー操作中に前の項目に戻ります。
- ⑯ **終了**
メニュー画面や番組表を閉じます。
- ⑰ **1~12テンキー**
チャンネルの直接選局に使用します。
文字や数字の入力にも使用します。
- ⑱ **チャンネル**
視聴チャンネルを順送り / 逆戻しします。
- ⑲ **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。
- ⑳ **消音ボタン**
音量を一時的に0にします。
- ㉑ **音量ボタン**
音量を変更します。
- ㉒ **青、赤、緑、黄**
データ放送やメニューの選択に使用します。
また、さまざまな機能ボタンとして使用します。
- ㉓ **早戻し**
録画した番組を早戻し再生します。
- ㉔ **再生**
録画した番組を再生します。
- ㉕ **一時停止**
録画した番組を一時停止します。
- ㉖ **早送り**
録画した番組を早送り再生します。
- ㉗ **スキップ(左)**
前のチャプターに移動します。
- ㉘ **録画**
現在視聴している番組を録画します。
- ㉙ **停止**
録画した番組を停止します。
- ㉚ **スキップ(右)**
次のチャプターに移動します。
- ㉛ **10秒バック**
録画した番組を10秒戻しします。
- ㉜ **残量**
USB機器一覧を表示します。
- ㉝ **オフタイマー**
オフタイマーの設定ができます。
- ㉞ **30秒スキップ**
録画した番組を30秒送りします。

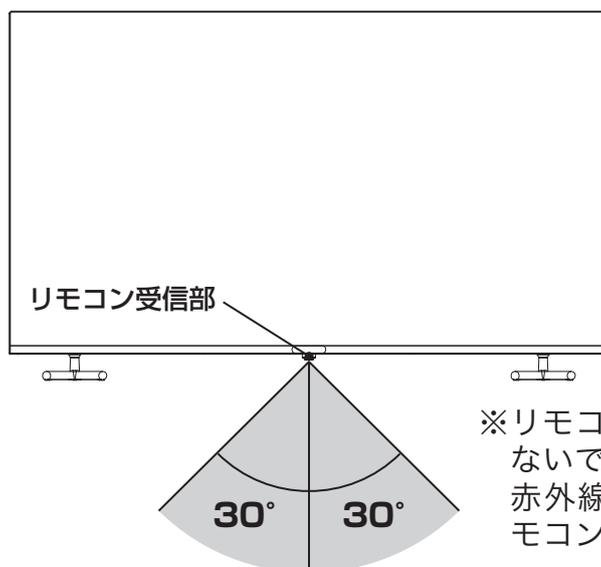
リモコンの送信部と受光部について

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、テレビ本体のリモコン受光部正面から下図の範囲でご使用ください。

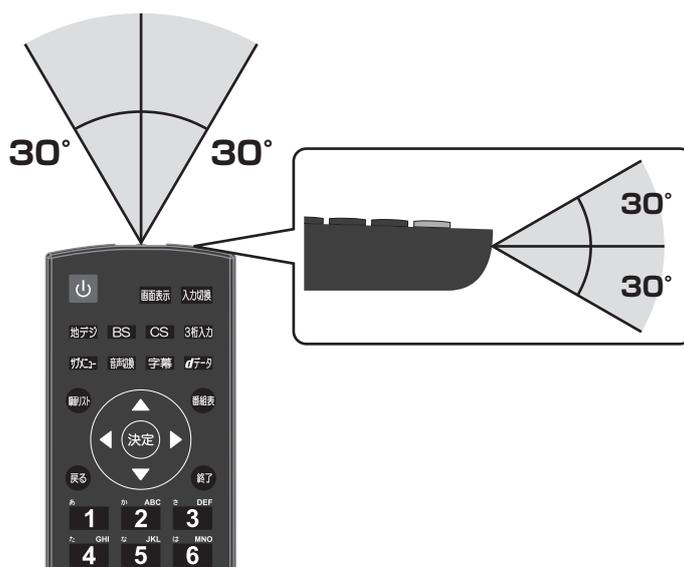
リモコン操作は、テレビのリモコン受信部(本体右下)に向けて行なってください。

リモコン受信部の受信角度



※リモコン受光部の前にものを置かないでください。
赤外線が遮られることにより、リモコンが動作しなくなります。

リモコン送信部の送信角度



スタンドの取り付け

⚠ 注意

- 必ず2人以上で取り付け作業をしてください。
1人で作業すると、ケガなどの原因となります。
- 画面を押したり、強く握らないでください。
画面を強く押したり、強く握ったりすると、破損するおそれがあります。

お知らせ

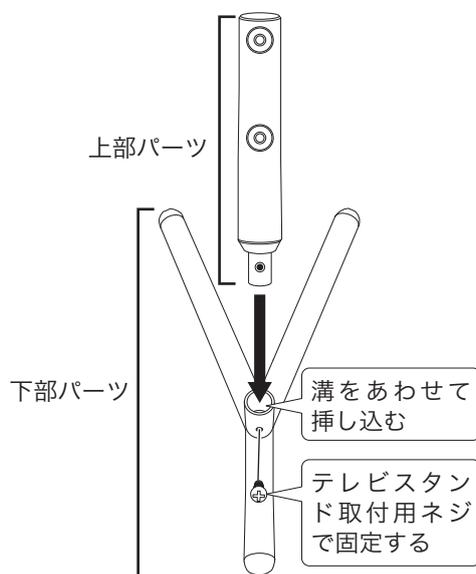
- 本製品の組み立てにはプラスドライバー(No.2)が必要です。

スタンドは下部パーツと上部パーツがあります。

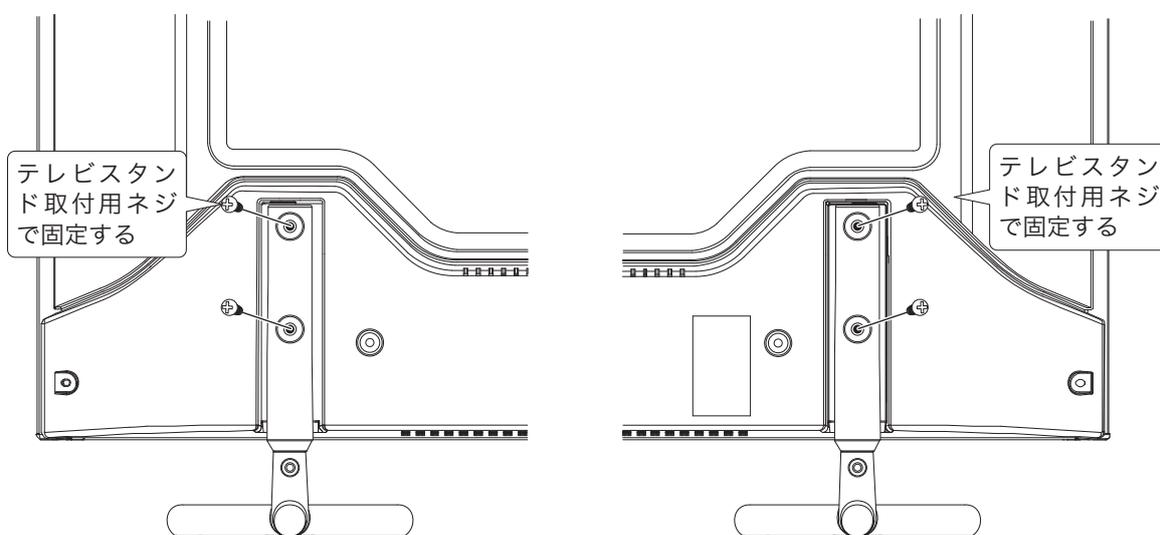
スタンド下部パーツの取り付け穴の溝とスタンド上部パーツの溝を合わせて挿しこみ、スタンド取り付け用ねじで固定してください。
組みあがったスタンドと本体をあわせて取り付けて、スタンド取り付け用ねじで固定してください。

スタンドを組み立てる

※スタンドに左右差はありません。



スタンドを本体に取り付ける



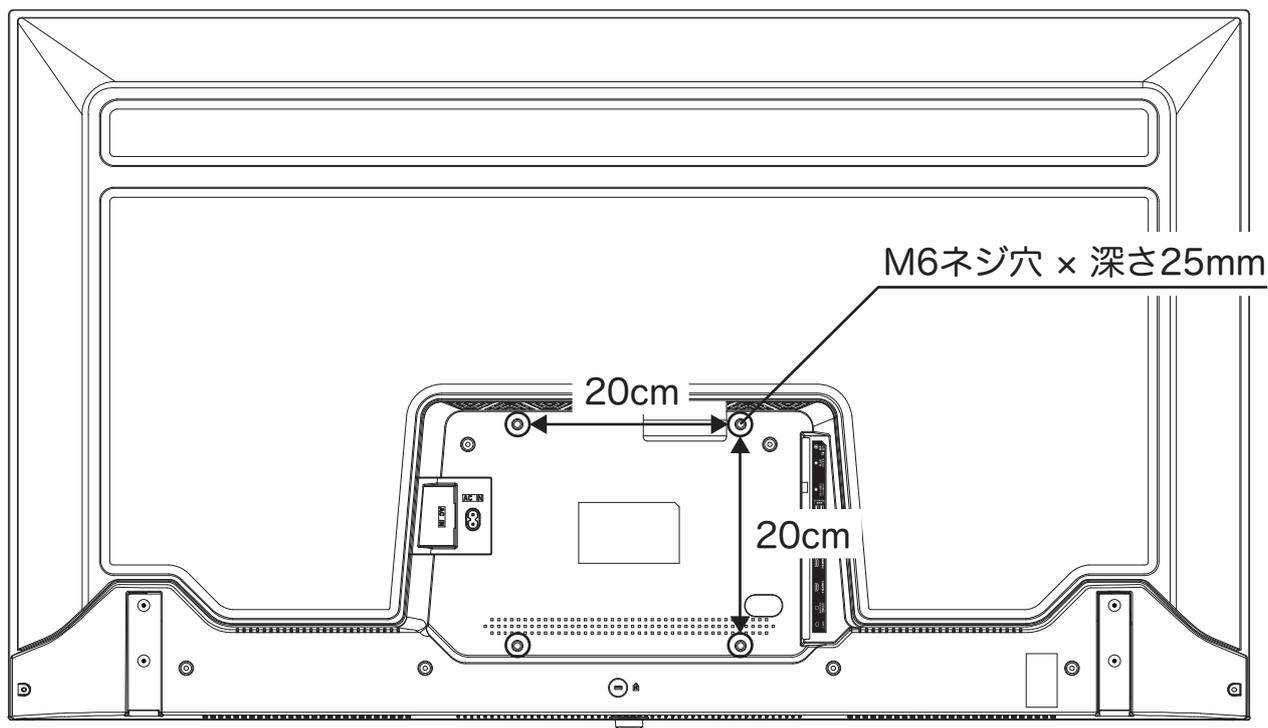
壁掛け金具で取り付ける



注意

- 壁掛け金具の取り付けには取り付け後の落下などの危険を考慮し、お客様による施工は行わず、必ず工事業者へ依頼してください。
- 安全のため、取り付け場所の強度は、長期間にわたって本製品と壁掛け金具の荷重に耐えるよう十分に注意の上、施工してください。
- 通気のため壁から5cm以上離して設置してください

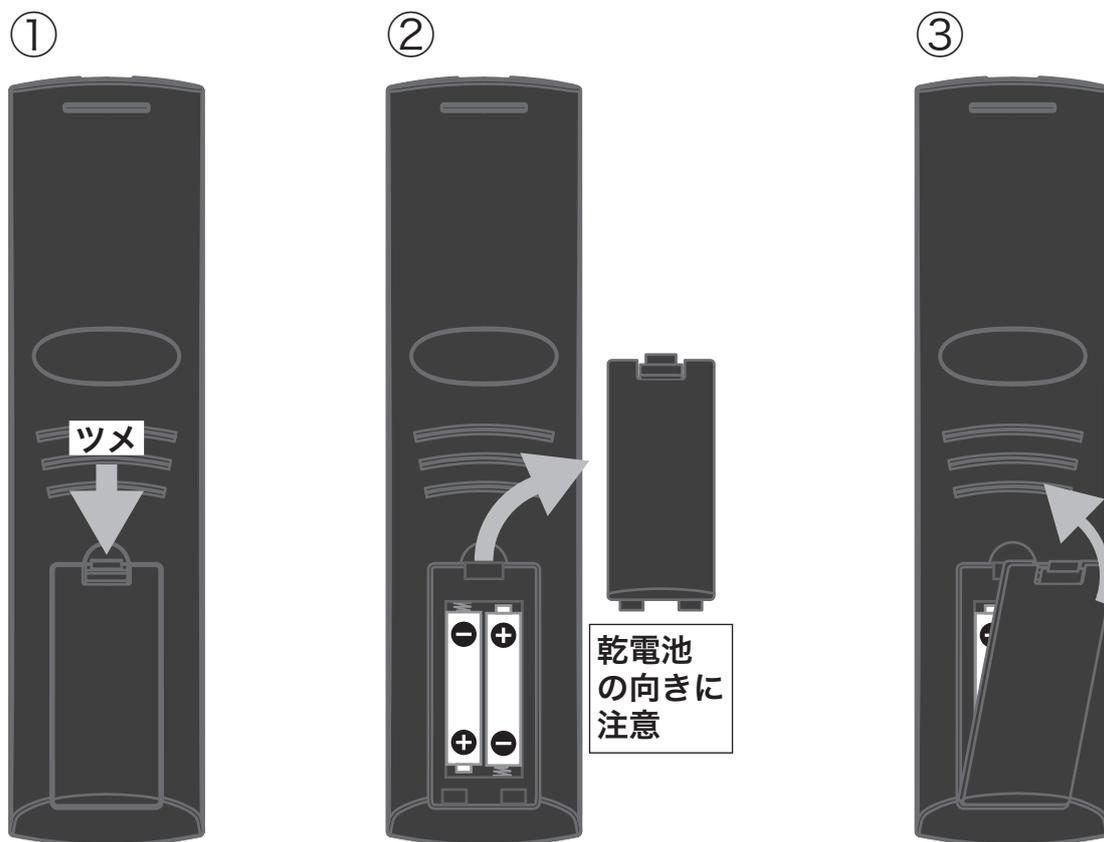
付属のスタンドを使用せずに、壁掛け金具や壁よせスタンドを使用する場合は、本体背面のVESA200×200(20cm×20cm M6ネジ 25mm)のネジ穴をご利用ください。
具体的な取付方法は、取り付け業者や、金具・スタンドの取扱説明書をご確認ください。



テレビを設置する

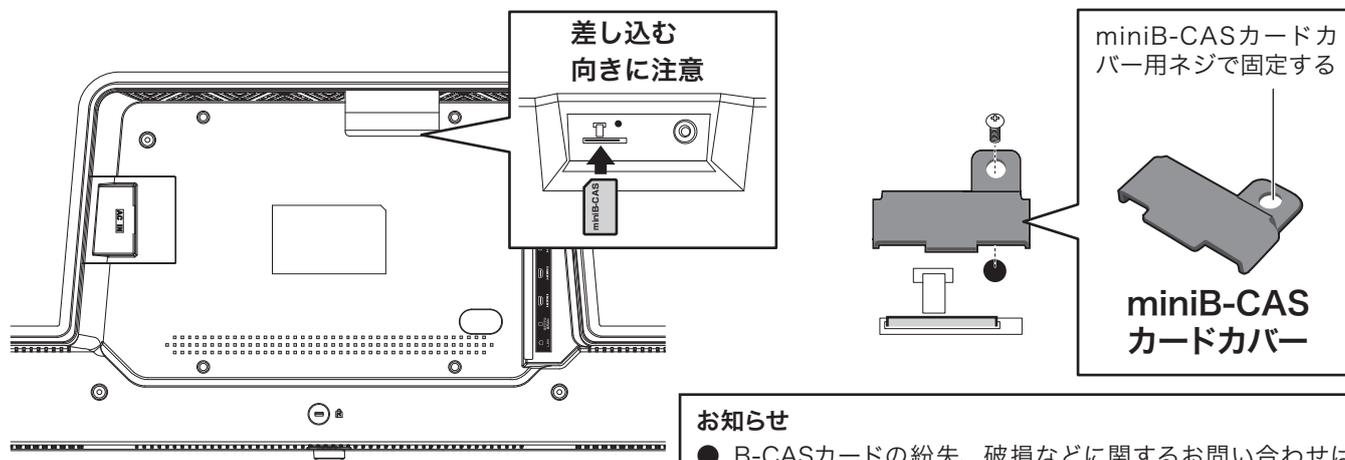
1 リモコンに乾電池を入れる

- ①矢印のツメを押して、電池カバーを押し上げる。
- ②+ 極、- 極の向きを確認し、正しい向きに単 4 形乾電池 2 本を入れる。
- ③電池カバーがカチッと音がするまで押して閉める。



2 miniB-CAS カードを差し込む

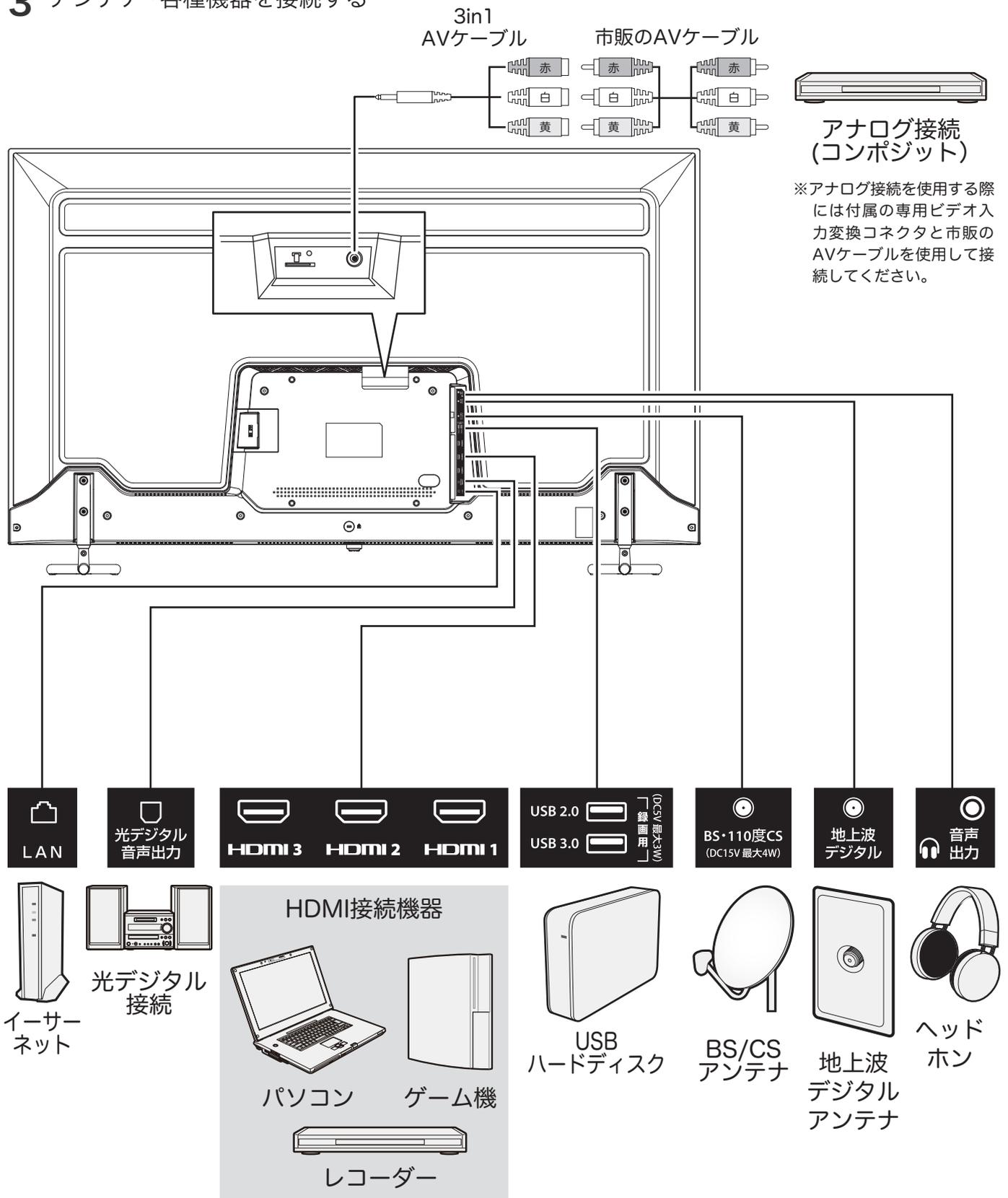
- miniB-CASカードを本体背面のminiB-CASスロットへ入れます。
- miniB-CASカードカバーを取り付けて、miniB-CASカードカバー用ネジで固定します。



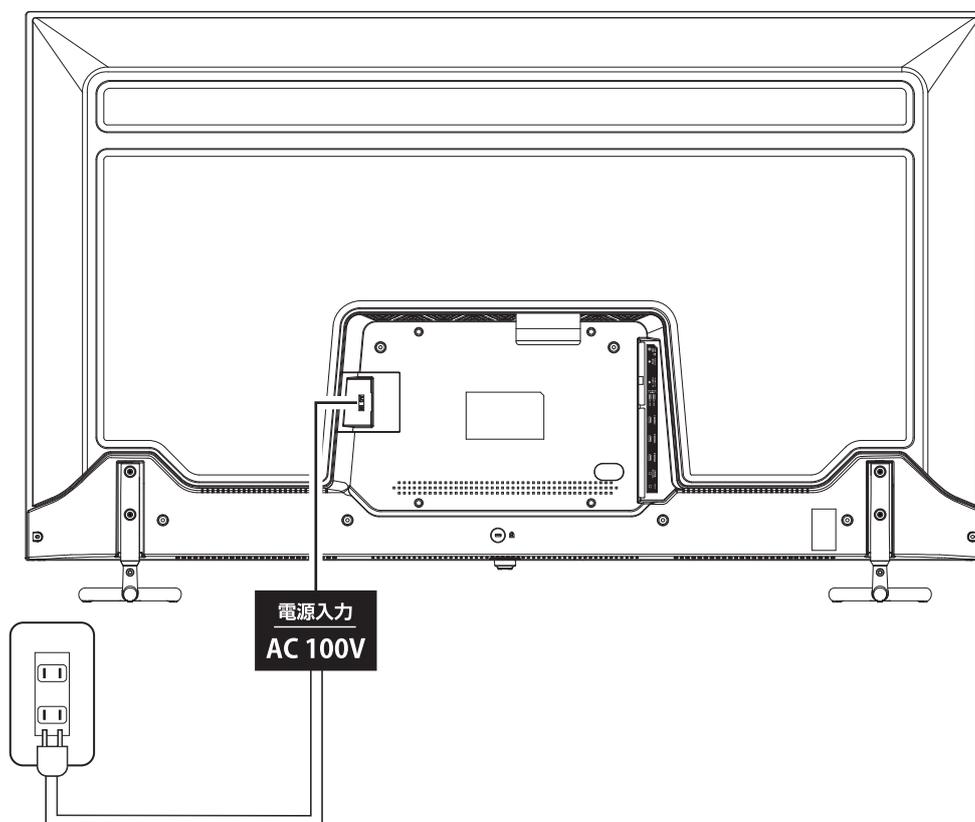
お知らせ

- B-CASカードの紛失、破損などに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターまでお願いいたします。(TEL : 0570-000-250)

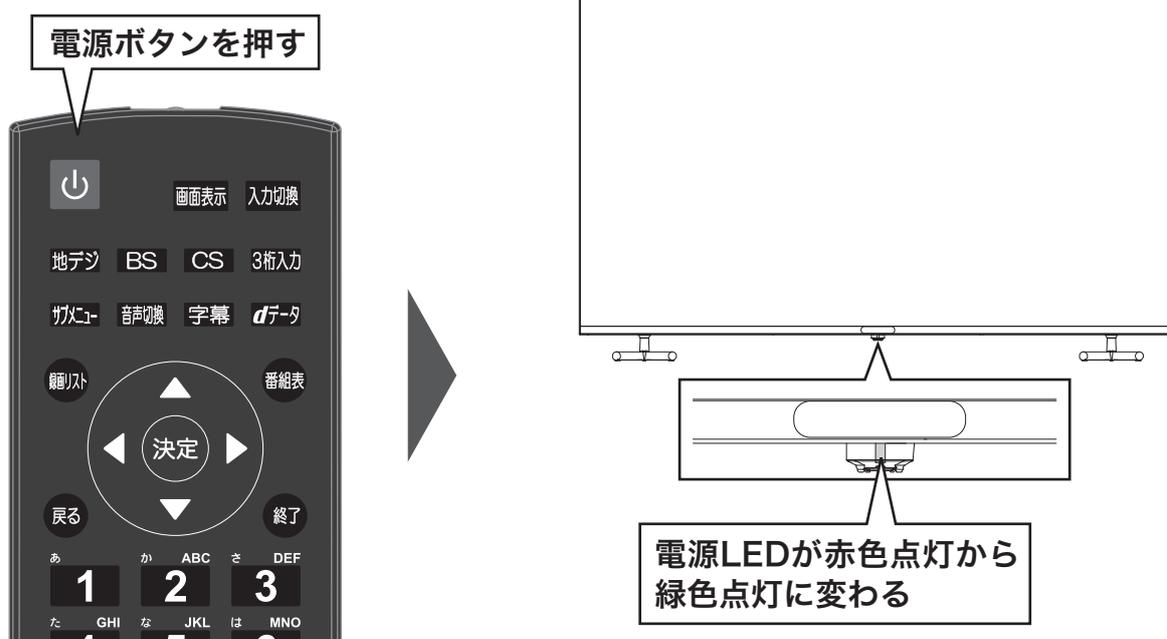
3 アンテナ・各種機器を接続する



4 本体に電源コードを接続し、コンセントに差し込む



5 電源をオンにする



●テレビの起動には、20秒ほどかかる場合があります。

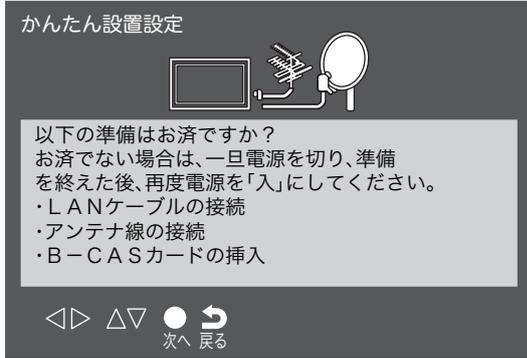
テレビ番組を楽しむ

「かんたん設置設定」について

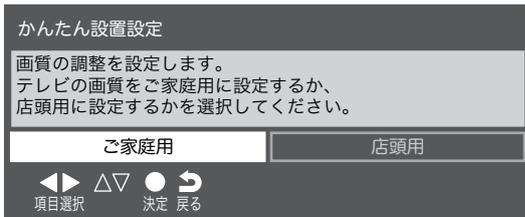
お買い上げ後、miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」で、お住まいの地域に適したチャンネルを設定します。

1 アンテナの接続とminiB-CAS カードが挿入されているのを確認し、決定を押す

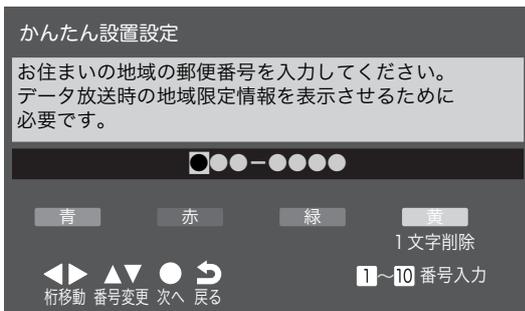
- 「かんたん設置設定」が表示されます。



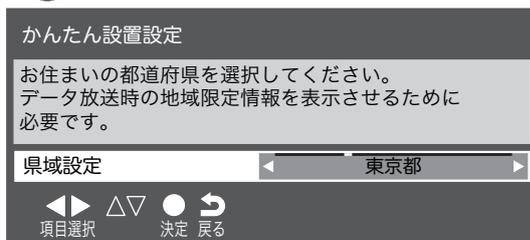
2 ◀▶で「ご家庭用」を選び、決定を押す



3 ▲▼◀▶か 1~10でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を押す

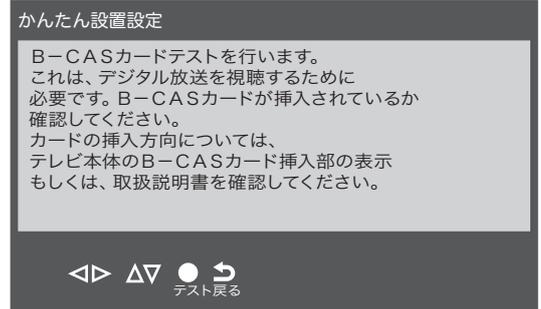


4 ◀▶でお住まいの都道府県や地域を選び、決定を押す



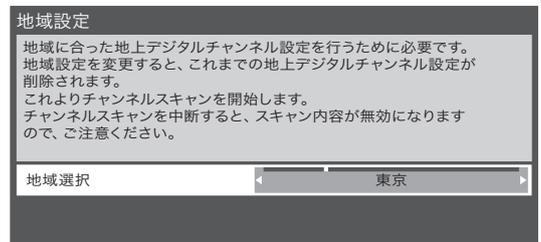
データ放送受信のための地域設定を行います。

5 決定を押し、miniB-CASカードテストを行う



テストが終わると結果の画面が表示されますので、決定を押します。

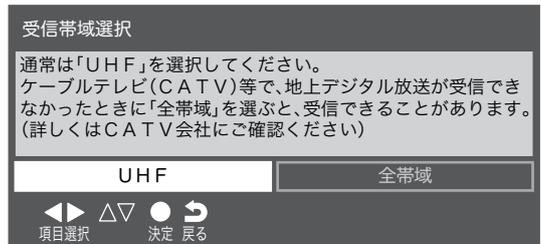
6 ◀▶でお住まいの都道府県や地域を選び、決定を押す



地上デジタル放送のチャンネル設定のための地域設定を行います。

7 ◀▶で受信帯域を選び、決定を押す

- 特に問題がなければ「UHF」を選択してください。



地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まりますので、終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。

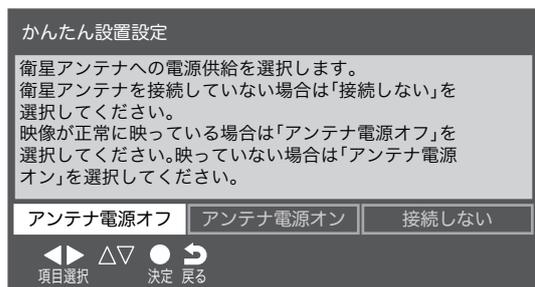


- 戻るを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

- 自動設定された内容を変更したい場合は、「設置設定」で設定し直すことができます。

テレビ番組を楽しむ つづき

8 衛星アンテナへの電源供給方法を選び、**決定**を押す



番組データを受信します。
「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示されたら**決定**を押します。



■「地上デジタルチャンネル設定」について

- 「かんたん設置設定」や「初期スキャン」をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをテレビが探し、リモコンの **1** ~ **12** に自動設定します。（「かんたん設置設定」や「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません）

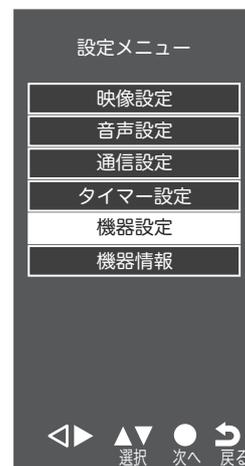
■地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、「かんたん設置設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。
- 地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

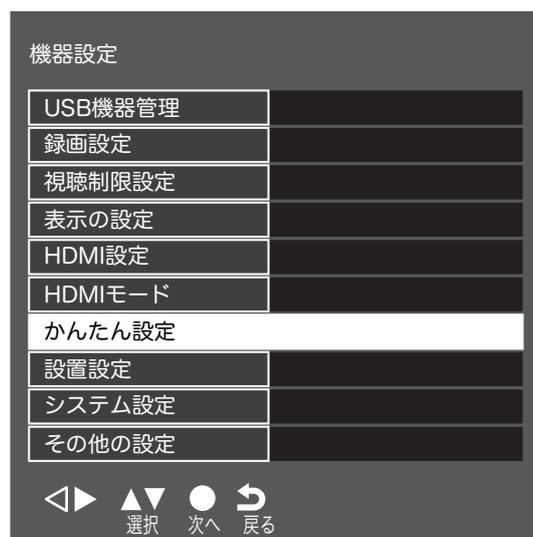
「かんたん設置設定」をやり直す

「かんたん設置設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をした後で「かんたん設置設定」をやり直すことができます。

1 **メニュー**-ボタンを押し **▲▼** で「機器設定」を選び、**決定**を押す



2 **▲▼** で「かんたん設定」を選び、**決定**を押す



3 「かんたん設置設定」の画面が表示されるので、P16 「かんたん設置設定について」にしたがって操作してください。

テレビ番組を楽しむ つづき



リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ BS CS で放送の種類を選ぶ

- 視聴している放送と同じ種類の放送を視聴する場合、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の三通りの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

- ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** で選局します（下の「お知らせ」をご覧ください）

※BSデジタル放送やCSデジタル放送の視聴には専用アンテナの設置とアンテナケーブルの接続が必要になります。

チャンネル / V ボタンで選局する（順次選局）

- でチャンネルが順次に切り替わります。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

チャンネル番号は番組表で確認できます。

- ① **3桁入力** を押し、 と **決定** で「3桁入力選局」と進む

・視聴中の放送の種類に応じて、3桁入力選局の画面が表示されます。



- ② **1** ~ **10** でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合 **1** **10** **3** の順に押します（「0」は **10** で入力）

・入力した番号を消すには、**黄** を押します。

- 枝番のついた放送一覧が表示された場合は、放送を選択してください。

- リモコンの **3桁入力** キーを押してもダイレクト選局が行えます。



- **1** ~ **12** でワンタッチ選局ができるのは下記のとおりです。

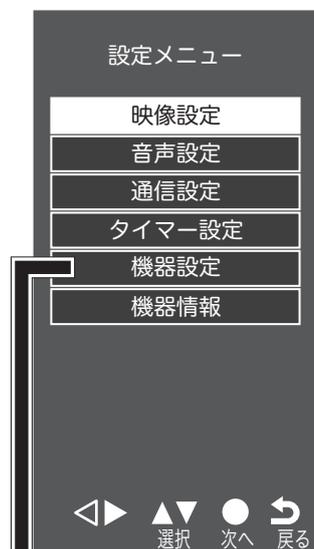
- ・ **地デジ** を押したとき → 「はじめの設定」で各ボタンに登録されたチャンネル
- ・ **BS** を押したとき → 各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル
- ・ **CS** を押したとき → 110度CSデジタル放送の一部のチャンネル (**1** と **2** のみ)

- 番組表のサブチャンネルを表示/非表示にするにはメニューの「機器設定」→「その他の設定」→「選局対象」を切り替えます。

テレビ番組を楽しむ つづき

メニューについて

- **メニュー** や **サブメニュー** を押してメニューを表示し、さまざまな便利機能を使うことができます。
- メニューで選択できる項目は入力の種類や外部機器の有無やテレビの動作状態によって変わります。選択できない項目は、薄く表示されます。



映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます。
音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます。
通信設定	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します。
タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします。
機器設定	外部機器の設定や本製品のシステム設定などをします。
機器情報	機器の ID 情報を表示します。



USB 機器管理	登録したUSBハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。
録画設定	録画をするときの設定をします。
視聴制限設定	視聴制限年齢の設定をします。
表示の設定	字幕設定などの設定をします。
HDMI設定	HDMI機器を接続した時の動作を設定します。
HDMIモード	HDMI機器を接続したときの伝送フォーマットを設定します。
かんたん設定	チャンネルの設定や登録をします。
設置設定	放送の受信チャンネルや地域設定などの設定をします。
システム設定	B-CAS情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認します。
その他の設定	文字入力設定と選局するチャンネルを設定します。

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物したりすることができます。(電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、 を押します。



- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などでは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定を行ってください。双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、しばらく操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜くと、テレビが記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

外部入力画面に切り替える

- 本機の外部入力端子（HDMI 1～3、ビデオ入力）に接続したDVD・ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

3 入力切換 を繰り返し押すか、▲▼を押して入力を選ぶ

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り替わります。



- ・▲▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り替わります。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。



- HDMI1～3は解像度4K UHD(3840×2160)まで対応しています。
- 対応している入力信号であっても映像が表示されなかったり、正しく表示されない場合があります。
- パソコンと接続する場合のリフレッシュレートは60Hzを推奨します。
- ARC対応機器との接続には、HDMI1をご使用ください。

HDR(ハイダイナミックレンジ) 機能について

HDR(ハイダイナミックレンジ) 対応機器から、HDR10規格の映像が入力された場合、自動的にHDRモードに切り替わります。



プレミアム ハイスピードHDMIケーブル
(別売り)

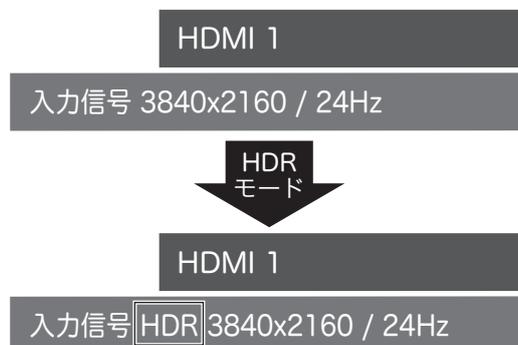


HDR対応機器

HDR対応機器との接続には、18Gbpsに対応したプレミアム ハイスピードHDMIケーブルを使用してください。

(推奨HDMIケーブル:グリーンハウス製プレミアム ハイスピードケーブル GH-HDMIPAシリーズ)

現在入力されている信号は画面表示で確認することができます。



- 本製品には、HDR機能をオン/オフする機能はありません。HDR対応機器側で切り替えてください。
- HDR10規格の映像信号のみ対応しています。他のHDR規格の信号には対応しておりません。
- ケーブルや機器の相性により、HDRに切り替らない場合があります。

便利な機能を使う

他の映像・音声・データを切り替える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り替えることができます。

1 音声切換を押す

- 音声切換を押すたびに主音声と副音声に切り替わります。
- サブメニューの「信号切換」でも音声の切り替えができます。

音声を切り替える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り替えることができます。

1 音声切換を押す

- 音声切換を押すたびに以下のように切り替わります。
→音声 1 → 音声 2 → 音声 3…
- サブメニューの「信号切換」(次の説明)でも音声の切り替えができます。

映像、音声、データを切り替える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があります、お好みで選択することができます。

1 方向キーを押し▲▼と決定で「信号切換」を選ぶ

2 切り替える信号を▲▼で選び、決定を押す

- 視聴中の番組で切り替えのできない信号は、薄く表示されます。



■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消され、基本の信号を選択した状態になります。音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

3 視聴したい映像、音声、データを ▲▼ で選び、決定を押す

- 「信号切換」に表示される「音声」、「二重音声」は、音声切換で選択する機能と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに使用します。

1 一時停止/静止を押す

- 映像が静止します。
- 解除するときは、もう一度一時停止/静止を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。



- データ放送視聴中はデータ放送が解除されて静止します。
- 映像の静止中のデータ放送の操作は静止画が解除されます。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は停止しません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切りかわると静止画が解除される場合があります。

便利な機能を使う つづき

タイマー設定をする

オンタイマー

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「タイマー設定」→「オンタイマー」の順に進む

2 **▲▼**、**1**～**12**、**決定** で「時刻」「音量」「放送/入力」「チャンネル」を入力し「オンタイマー」を「入」にする

3 本製品の電源を切る



- 「オンタイマー」が「入」のときは時刻等の変更はできません。

オフタイマー

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 **メニュー** を押す

2 **メニュー** を繰り返し押しして時間を設定する

→ オフ → 30分後 → 60分後 → 90分後 →

無操作電源オフ

- しばらくの間、無操作状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「タイマー設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「無操作電源オフ」を選び「入」にする

無信号電源オフ

- しばらくの間、信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「タイマー設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「無信号電源オフ」を選び「入」にする

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホン使用時の音量を設定します

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「音声設定」→「ヘッドホン音量」を選ぶ

2 **◀▶** で音量を調整します。



- 「音声同時出力」を「する」に設定するとヘッドホンとテレビのスピーカーの両方から音が出ます。

外部スピーカーで聴く

- HDMI1入力端子に接続したARC対応機器から音声を出力します。
- 音声を本機のスピーカーで再生するか、接続した HDMI 機器で再生するかを設定します。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「HDMI機器設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「HDMI 機器選択」を選び使用する機器を選択する

3 **▲▼** と **決定** で「スピーカー選択」を選び「外部」にする

文字を入力する

- ハードディスクの表示名を変更するなど文字を入力する場合に、文字入力画面が表示されます。

入力方法を選ぶ

- 画面に表示されるキーボードで入力するかリモコンのボタンで入力するかを選びます。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「入力方法」を選び「画面キーボード」か「リモコンボタン」を選ぶ

変換方式を選ぶ

- 通常方式か予測方式かを選びます。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「その他の設定」→「文字入力設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「変換方式」を選び「通常方式」か「予測方式」を選ぶ

画面キーボードでの文字入力

- 画面に表示される文字入力キーボードで文字を入力します。

通常方式

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青 終了
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 文字切替
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	め	へ	ね	て	せ	け	え	黄 文字クリア	
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	も	ほ	の	と	そ	こ	お		

予測方式

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青 終了
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 文字切替
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	め	へ	ね	て	せ	け	え	黄 文字クリア	
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	も	ほ	の	と	そ	こ	お		

カーソルの移動

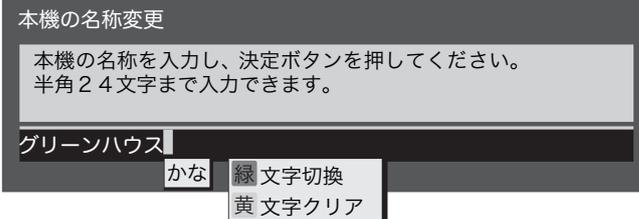
- 決定** 文字選択
- 青** 変換
- 赤** 確定 / 終了
- 緑** 文字切替
- 黄** 文字クリア

かな ひらがなや漢字を入力
カナ カタカナを入力
英数 英字や数字を入力
数字 数字を入力

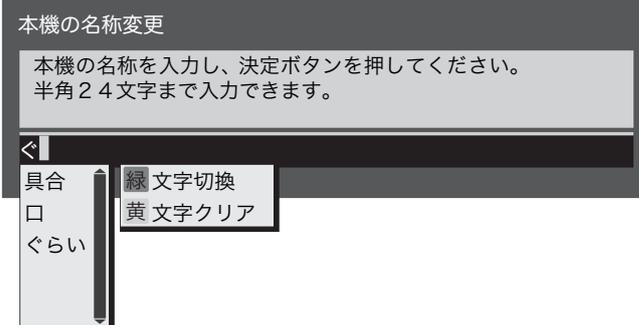
※「数字」は文字入力モードがリモコンボタンのときのみ選択できます

リモコンボタンでの文字入力

通常方式



予測方式



- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう



- 文字に続けて **10** を押せば、濁点 (`) や半濁点 (`) の入力ができます。

- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に **▶** を押します。

入力例：あい



- 入力文字の種類を変えるときは、**緑** を押します。

- 変換中の文字を一つ前の順序の文字に戻りたいときは、**12** を一回押します。

- 文字を挿入するには、挿入する場所を **▲▼◀▶** で選んで入力します。

- スペースを入力するときには、**11** を6回押します。

文字を変換する

- 漢字に変換しない場合は **決定** を押します。
- 漢字に変換する場合は **▼** を押し変換したい漢字を探します。
- 変換したい漢字が見つからない場合は **◀▶** で変換する範囲を替えて **▼** を押し変換したい漢字を探します。
- 変換したら **決定** を押しして確定します。

文字を入力する つづき

リモコン入力文字一覧

●最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1 <small>あ</small>	あいうえおあいうえお 1	アイウエオアイウエオ 1	@./:~_#\$%*+=^1	1
2 <small>か ABC</small>	かきくけこ 2	カキクケコ 2	abcABC2	2
3 <small>さ DEF</small>	さしすせそ 3	サシスセソ 3	defDEF3	3
4 <small>た GHI</small>	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4	ghiGHI4	4
5 <small>な JKL</small>	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	jkIJKL5	5
6 <small>は MNO</small>	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	mnoMNO6	6
7 <small>ま PQRS</small>	まみむめも 7	マミムメモ 7	pqrsPQRS7	7
8 <small>や TUV</small>	やゆよやゆよ 8	ヤユヨヤユヨ 8	tuvTUV8	8
9 <small>ら WXYZ</small>	らりるれる 9	ラリルレロ 9	wxyzWXYZ9	9
10 <small> ` ° ` ` 小文字</small>	` ° ` ` 。 ? ! ・ () 0	` ° ` ` 。 ? ! ・ () 0	- ; " () ? ! & ¥ < > [] { } 0	0
11 <small>わ ん</small>	わをんわー	ワヲンワー	(スペース)	*
12 <small>↩</small>	逆方向へ入力※1	逆方向へ入力※1	逆方向へ入力※1	#

※1: 文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻ります。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- テレビ背面のUSB（録画専用）端子に接続したUSBハードディスクにデジタルテレビ放送番組を録画できます。
（データ放送、外部入力（HDMI1～HDMI3、ビデオ入力）で視聴している動画の映像・音声は録画できません）
- ・ USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> ● USBハードディスクの電源を入れておきます。 ● USBハードディスクの残量を確認します。 ※ 残量不足や番組数超過（3000件を超える）になる場合は、事前に不要な番組を削除します。

USBハードディスクは、テレビに登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をするときに接続した機器が選択できない場合は、USBハードディスクを登録してください。
- USBハードディスクの登録のしかたはP.28を確認してください。
- USBハードディスクはバスパワー方式ではなく、専用のACアダプタを接続するセルフパワー方式のものを接続してください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は64件です。最大録画番組数は3000件です。

推奨外付けハードディスク

- 以下のUSBハードディスクを推奨品としています。

東芝	I-O DATA	バッファロー	ELECOM
THD-200V2	RHDM-Uシリーズ	HD-PCTU2(J)シリーズ	ELD-QEN020UBK
THD-300V2	HDCA-Uシリーズ	HD-ALU2(J)シリーズ	ELD-ERH020UWH
CANVIO PREMIUM (HD-MBシリーズ)	AVHD-URシリーズ	HD-LBVU3シリーズ	SGD-NZ030UBK(WH)
	HDCL-UT3.0KF	HD-WLU3/R1シリーズ	ロジテック
CANVIO CONNECT (HD-PFシリーズ)	EX-HD2CZ	HD-AMU3/Vシリーズ	LHD-EN20U3BSM
	AVHD-URSQQ2	HD-AMCU3/Vシリーズ	シリコンパワー
CANVIO BASICS (HD-ACシリーズ)	AVHD-AUTB2	HDX-LSU2/Vシリーズ	SPO30TBEHDS06A3KTV
	HDCZ-UT2K	HD-NRLC2.0-B	Marshal
CANVIO DESK (HD-ED/EFシリーズ)		HDV-SQ2.0U3/VC	HDDEX3200-H3
		HD-LL2.0U3-BKF	
		HD-LC2.0U3-BKF	



● USBハードディスクについて

USBハードディスクは使用状況によっては数年で故障する可能性があり、テレビに接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存には適していないため、一時的な保存・再生機能としてご使用ください。



- USBハードディスクへの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中で録画したテレビ番組は正しく保存されません。
- 予約録画の開始時に自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- テレビの故障や受信障害などによって正常に録画・再生できなかった場合の補償、損失、損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- すべてのUSBハードディスクには、対応しておりません。

録画用USBハードディスクの接続をする

●テレビにUSBハードディスクを接続し、登録することで、テレビ番組の録画、録画予約、録画したテレビ番組の再生ができます。



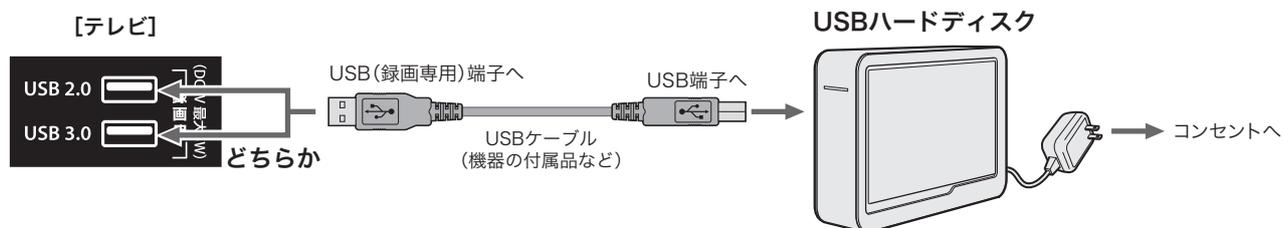
- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクをテレビに接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- テレビで使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があり、テレビで録画した番組はすべて消去されます。
- テレビに接続したUSBハードディスクを取り外す場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の手順で「機器の取りはずし」の操作をしてください。
- 録画したテレビ番組が消去されたり、USBハードディスクが故障したりする原因となるため、USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。
- 登録可能なUSBハードディスクの容量は1台あたり4TBまでです。

USBハードディスクを接続する

●USBハードディスクは専用のACアダプタを接続してご使用ください。

USBハードディスクが1台のとき

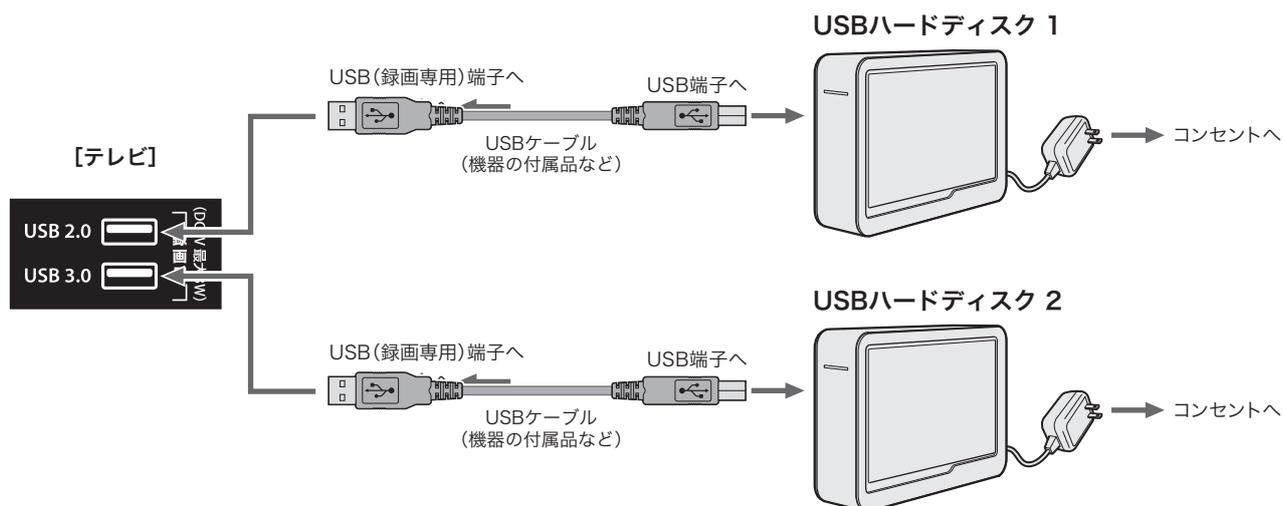
●USBハードディスクは、USB（録画専用）端子に接続します。



USBハードディスクが複数のとき

●本製品はUSBハブをご使用になれません

※本機には8台までのUSBハードディスクを登録でき、そのうちの2台のUSBハードディスクを接続しておくことができます。



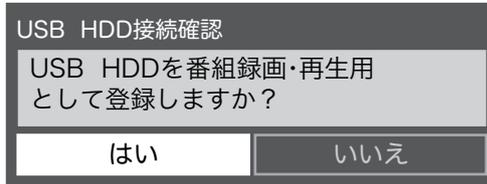
- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態でテレビの電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理を行ってから次のUSBハードディスクを接続してください。

USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクをテレビに登録する

- テレビが未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順でテレビに登録します。

1 ◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

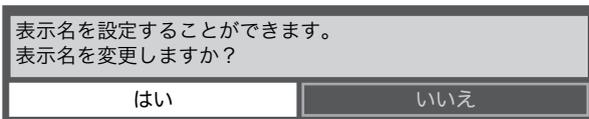


2 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で◀▶で「はい」を選び **決定** を押す

3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 初期化と登録が始まります。

4 表示名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す



- 変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して決定を押します。
半角 24 文字まで入力できます。

5 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 録画や予約をするときに、録画機器の初期候補に登録したUSBハードディスクになります。

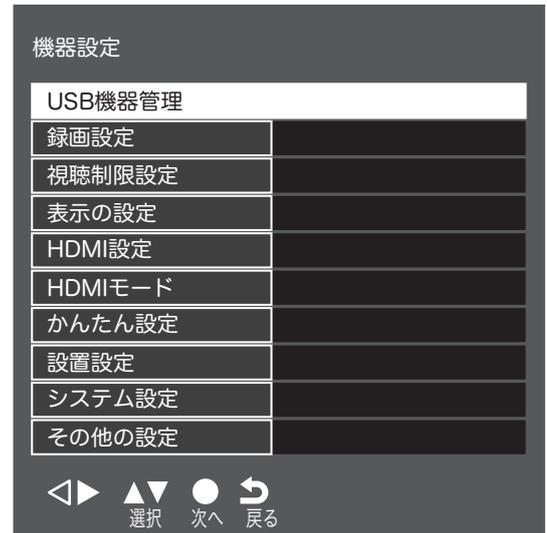
ご注意

- 録画中および録画予約が設定されているときは、本機やUSBハードディスクの電源プラグやUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機で初期化して登録したUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

USBハードディスクの設定をする

- 登録したUSBハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。

1 **Xinput** を押して、「機器設定」→「USB 機器管理」と選ぶ



- USB 機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

2 設定するUSB 機器を▲▼で選び、以降の手順で設定する



取り外すとき

- **青** (取り外し) を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。

ご注意

- 本機に接続したUSBハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。安全に取り外しを行わなかった場合、次回接続したときに、機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。
- 「登録削除」を行うとUSBハードディスクに録画された番組は再生できなくなります。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクごとに設定を変えることはできません。
- ※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「ー時間ー分」と表示される場合は、少し待ってから操作してください。
- ※USBハードディスクによっては、表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※テレビの電源が「切」や「待機」のときでも「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

- ① **X** を押し **▲▼** と **決定** で「機器設定」→「録画設定」→「USB HDD待機」を選ぶ
- ② **▲▼** と **決定** で「オン」か「オフ」を選ぶ
オン USBハードディスクを使用しない状態がしばらく続くと、USBハードディスクの電源が待機状態になります。
オフ テレビの電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常に「入」の状態になります。

USB ハードディスクの取り外し

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするとき、事前に取り外しの操作が必要になります。
- ① **残量** を押す
- ② **▲▼** で取り外すHDDを選択する
- ③ **青** を押した後、「この機器は安全に取り外しできます」と表示が出てからUSBケーブルを本製品から取り外す

録画の基本的な設定をする

録画に使用する機器を設定する

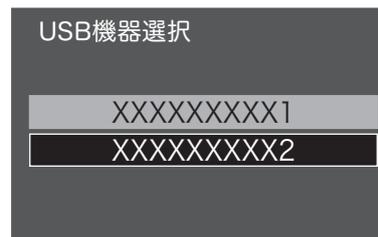
1 **残量** を押す

2 **▲▼** で録画に使用するHDD を選択する

3 **決定** を押すと、モードに録画用と表示される



3 **▲▼** と **決定** で再生に使用するHDDを選ぶ

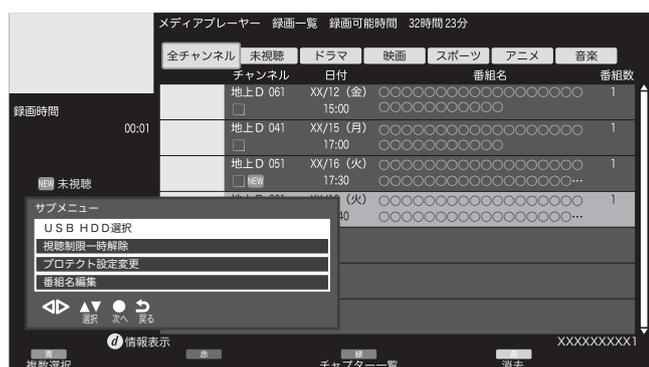


再生に使用する機器を設定する

1 **リスト** → **メニュー** の順に押す



2 **▲▼** で「USB HDD選択」を選び **決定** を押す



番組を録画する

見ている番組を録画する

- 現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

- 1 を押すと録画が開始する
- 2 を押すと録画の終了を確認する画面になるので「はい」を選択する

番組表から録画予約する

- 1 を押す
- 2 で録画したい番組を選び、 を押す

- 番組表に録画予約済みの赤い アイコンが表示されます。
- 再度 を押すと予約を取り消すことができます。



- 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。

録画設定の変更

- 「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

- 1 を押す
- 2 で録画予約した番組を選び、 を押す
- 3 で「設定変更」を選び、 を押す
 - 「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。
- 4 で「詳細設定」を選び、 を押す
- 5 以下の項目から変更したい項目を選んで変更する

予約方式 「見るだけ」「録画」をで選びます。

録画機器 複数のUSBハードディスクを接続しているときに、録画先を選びます。

その他の設定 「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に が表示されます。

時間指定予約へ 録画終了時間を設定できます。

チャプター設定

- 録画した番組にチャプターを自動で作成するかを設定します。

- 1 を押し と で「機器設定」→「録画設定」→「オートチャプター」に進む
- 2 で「オン」「オフ」を選択し を押す

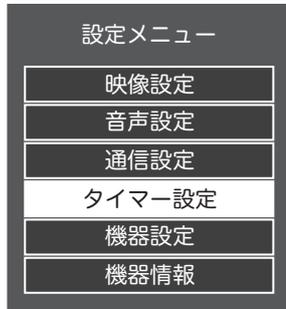


- 本製品ではチャプターを手動で編集することはできません。

日時を指定して予約をする/番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

- 1 **[メニュー]** を押す
●設定メニューが表示されます。
- 2 **▲▼** で「タイマー設定」を選び、**決定** を押す

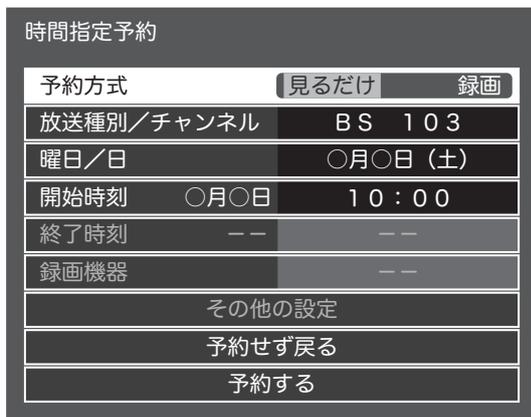


- 3 **▲▼** で「日時指定予約」を選び、**決定** を押す



●「時間指定予約」画面が表示されます。

- 4 録画予約の日時やチャンネルを設定する



- 1 設定する項目を**▲▼** で選び、**決定** で日時を設定する。
・ 6週間先まで指定できます。
・ 設定できる時間は最大12時間です。
- 2 設定が終わったら、**決定** を押す。

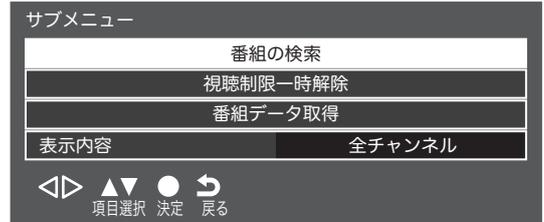
- 5 **▲▼** で「予約する」を選び、**決定** を押す

- 6 「予約が完了しました。」が表示されたら、**決定** を押す

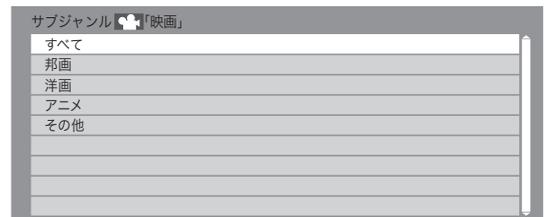
検索条件を指定して番組を探す

●「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

- 1 放送視聴中に**番組表**を押す
- 2 **[メニュー]** を押す
- 3 **▲▼** で「番組の検索」を選び、**決定** を押す
- 4 **▲▼** で「ジャンル検索」を選び、**決定** を押す



- 5 検索条件を指定する
 - 1 **▲▼** でメインジャンルを選び、**決定** を押す
 - 2 **▲▼** でサブジャンルを選び、**決定** を押す



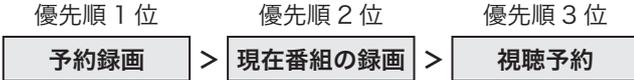
- 6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を選び、**決定** を押す
- 7 **▼▲◀▶** で「録画予約/視聴予約」を選び、**決定** を押す

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

録画を中止するとき

- 予約録画と他の録画や視聴予約などが重なった場合、予約録画が優先され、他の録画や視聴予約は正しく保存されません。



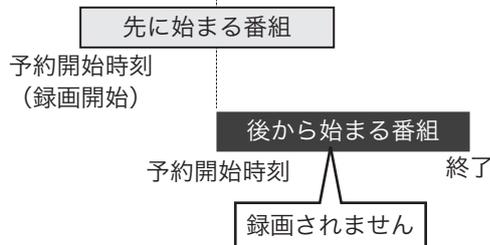
- 録画終了直後の時刻から始まる番組を視聴予約してもその視聴予約は実行されません。

例：8時から9時までの番組を録画している場合
9時からの視聴予約は実行されません。

予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合、後から始まる番組の予約は実行されません。

予約開始時刻の早い番組を優先



- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約 15 秒が録画されません。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

予約した番組放送が始まる時

- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。

予約した番組の放送中

- 予約録画した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 予約録画した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- テレビを通常通りに使用できます。

録画した番組を再生する

録画番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作

1 **録画一覧** を押す

- 録画一覧が表示されます。



- 録画一覧には、番組の簡単な情報や、USBハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。
- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。
 - NEW** 未視聴
 - 録画中
 - 🔒** プロテクト中
- **緑** (チャプター一覧) を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

2 **▲▼** で見たい番組を選び、**決定** を押す

- どこから再生するかを確認画面が表示されたら「続きから再生」「最初から再生」を選び **決定** を押します。
 - ・選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります)
 - ・番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画一覧に戻ります。
 - ・再生中にできるリモコン操作については、35ページを参照してください。

3 再生を停止させるには、**停止** を押す

- 録画一覧の画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、**終了** を押すか、または選局の操作などをします。

ご注意

- 電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画一覧が開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ形式のテレビも含む)では再生できません。
- USBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機やUSBハードディスクの電源プラグを抜いたり(停電なども含む)、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因になります。USBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

録画中の番組を再生する

- 録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

1 録画中の番組を録画一覧から選び、**決定** を押す

お知らせ

- 録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。

録画番組の情報や番組説明を見る

1 再生中に **画面表示** を押す

再生中の番組の情報が表示されます。

2 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

録画した番組を再生する つづき

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内容
再生 	一時停止や早送り/早戻し再生から通常再生に戻ります。 テレビ番組の視聴中に押すと録画一覧が表示されます。
一時停止/静止 	再生中に押すと一時停止になります。 ・一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止 	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
早送り 	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
早戻し 	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
30秒スキップ 	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
10秒バック 	再生中に押すと10秒ほど戻って再生します。
スキップ 	前のチャプターまでスキップします。
スキップ 	次のチャプターまでスキップします。
残量 	登録済みのUSBハードディスクと録画可能な残量を確認できます。
録画リスト 	録画リストが表示されます。

※録画中の番組を再生する場合、早送りや早戻しなどが正しく動作しないことがあります。
 ※録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどによって映像が表示されなくなる場合がありますが、通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

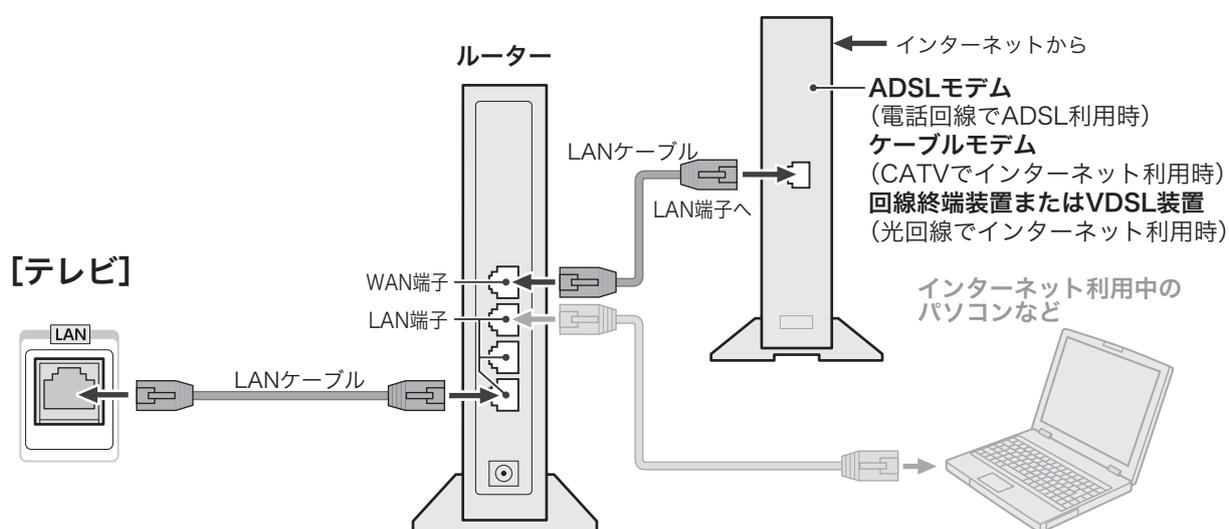
インターネットを利用するための接続をする

テレビをインターネットに接続したときにできること

できること	内容
データ放送の 双方向サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※テレビは電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

接続のしかた

- インターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、テレビのLAN端子とルーターのLAN端子を市販のLANケーブルで接続します。
- モデムとルーターが一体化されている場合など、詳しくはそれぞれの取扱説明書をお読みください。



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、テレビと接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- テレビのLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品に接続してください。
- 通信事業者やプロバイダーとの契約費用や利用料金などは、お客様のご負担となります。
- 以下、契約の通信事業者やプロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・契約内容によっては、テレビやパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・テレビを利用できないことがあります。
 - ・ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・回線状況によって、うまく通信できないことがあります。

お知らせ

- テレビでは、ルーターやモデムの設定はできません。
- テレビはダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- 正しく設定されていない回線にテレビのLAN端子を接続すると、テレビが正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

●本機背面の LAN 端子にネットワークケーブルをつなぐと、双方向通信のデータ放送や独立データ放送などをお楽しみいただけます。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに「通信設定」をします。

1 「メニュー」を押し▲▼で「通信設定」を選び、

決定を押す

●「通信設定」画面が表示されます。

2 ▲▼で「ネットワーク接続」を選び、

決定を押す



3 「かんたん設定／詳細設定」を選んで

決定を押す



●「詳細設定」を選んだ場合は手順4に進みます。

4 詳細設定を選択した場合、以下の手順に従って設定する

本機の名称／IPアドレス／DNS設定	
本機の名称変更	Japan TV
IPアドレス	自動取得
IPアドレス	.
サブネットマスク	.
ゲートウェイ	.
DNSアドレス	自動取得
DNS	.
プロキシ設定	.

本機の名称変更

ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。

IPアドレス

インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。

① ▲▼で「IPアドレス」を選び、決定を押す。

② IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選ぶ。

■IPアドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合

① ▲▼で「手動設定」を選ぶ

② ▲▼で「IPアドレス」を選び、**1**～**10**で入力する

③ ▲▼で「サブネットマスク」を選び、**1**～**10**で入力する

④ ▲▼で「ゲートウェイ」を選び、**1**～**10**で入力する

・②～④では 0～255 の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。

・▲▼▶で選び、**1**～**10**で番号入力、◀で訂正、決定で設定完了。

③ 決定を押す。

DNSアドレス

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNSアドレスを手動で設定してください。

① ▲▼で「DNSアドレス」を選び、決定を押す。

② DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選ぶ。

■DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合

① ▲▼で「手動設定」を選ぶ

② ▲▼で「DNS」を選び、**1**～**10**で入力する

・②では 0～255 の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。

・欄を移動するには、を押します。

③ 決定を押す。

ネットワークに関するお知らせ・用語



■IP アドレス設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能 (IP アドレスを自動的に割り当てる機能) が ON のときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターの DHCP 機能が OFF のときは、「自動取得」を「しない」にし、手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器と IP アドレスが重複しないように設定します。(設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません)
- 設定終了後、テレビに設定された IP アドレスとルーターのローカル側に設定された IP アドレスのネットワーク ID 部分がそれぞれ同じであることを確認します。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■DNS 設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能が ON のときは、DNS アドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能が OFF のときは、DNS アドレスの「自動取得」を「しない」にし、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■通信設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - (1) LAN 端子の接続状態と「通信設定」を確認する
 - ・正しく接続・設定されているかご確認ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)
 - (2) ネットワーク環境の接続確認
 - ・テレビと同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。(ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します)

■PPPoE 設定について

- テレビでは PPPoE の設定はできません。PPPoE はルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)



■IP アドレス

インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■DNS サーバー

ドメイン名 (xxx.co.jp など) を IP アドレスに置き換える機能を持つサーバーで、テレビでは自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定された DNS アドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します (例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2 サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例: 255.255.xxx.xxx)

■デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IP アドレスで特定されています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■プロキシ

HTTP プロキシサーバーからファイアウォールを越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができるものです。指定があるときだけ設定してください。(例: proxy.xxx.xxx.xxx)

■MAC アドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

●地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。

初期スキャン …… 「かんたん設置設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。

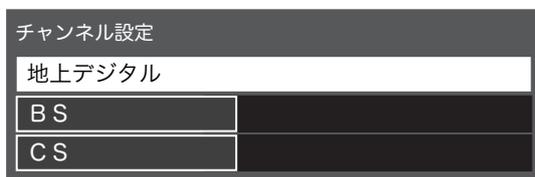
再スキャン …… 放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

初期スキャンをするとき

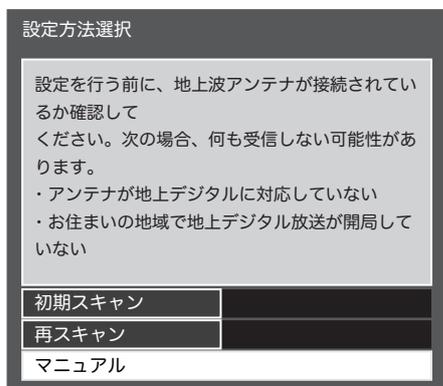
●受信可能なチャンネルをテレビが探し、ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 **X**を押して▼▲と**決定**で「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」の順に進む

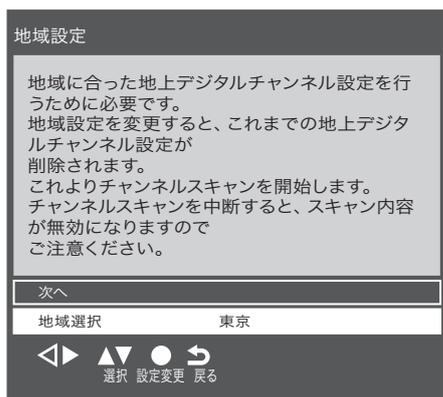
2 ▼▲で「地上デジタル」「BS」「CS」を選び**決定**を押す



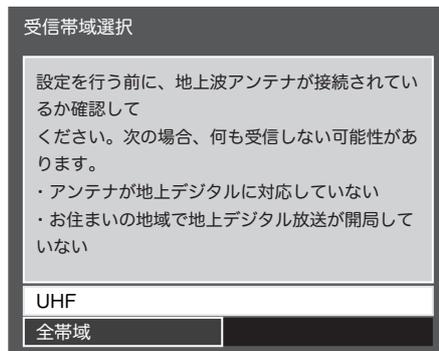
3 ▼▲で「初期スキャン」を選び**決定**を押す



4 ◀▶でお住まいの都道府県や地域を選んで**決定**を押して、▼▲で「次へ」を選び**決定**を押す



5 ▼▲で「UHF」を選び**決定**を押す



6 受信できたチャンネルが表示されます。**終了**で視聴画面に戻ります。



再スキャンをするとき

●新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **X**を押して▼▲と**決定**で「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」の順に進む

2 ▼▲で「地上デジタル」「BS」「CS」を選び**決定**を押す

3 ▼▲で「再スキャン」を選び**決定**を押す

4 受信できたチャンネルが表示されます。**終了**で視聴画面に戻ります。

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

●お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。

●テレビの設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

※データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）などについてもすべて初期化されますので、テレビを廃棄する場合や譲渡する場合に行ってください。



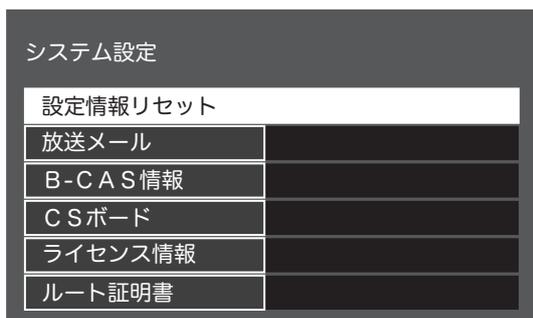
※初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできません。

本機の廃棄を目的に、すべての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB HDDに録画した番組は見ることができなくなります。

ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 **メニュー** を押し「機器設定」→「システム設定」を選び **決定** を押す

2 **▼▲** で「設定情報リセット」を選び **決定** を押す



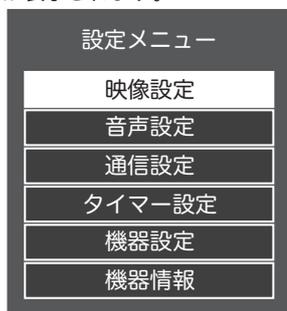
3 **◀▶** で「はい」を選び **決定** を押す

メニュー

設定メニュー画面

1 [メニュー] を押す

- 設定メニューが表示されます。



- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る**を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

設定メニュー一覧

メニュー名

映像設定	設定項目
	画質動作選択
	画面の明るさ
	周囲の明るさ
	暗部調整
	色の濃淡
	色あい
	輪郭強調
	色温度
	動的コントラスト
	ノイズ低減
	MPEGノイズ低減
	高度な設定
	詳細調整
	シネマ設定
	画面の設定
	調整の初期化
音声設定	設定項目
	音声調整
	低音
	高音
	イコライザー
	バランス
	サラウンド
	ヘッドホン音量
	音量自動調整
	入力音量補正
	デジタル音声出力
	音声同時出力
	調整の初期化

メニュー名	設定項目
通信設定	ネットワーク接続
	ネットワーク状態
タイマー設定	日時指定予約
	オンタイマー
	無操作電源オフ
	無信号電源オフ
機器設定	USB機器管理
	録画設定
	視聴制限設定
	表示の設定
	HDMI設定
	HDMIモード
	かんたん設定
	設置設定
	システム設定
	その他の設定
機器情報	ID表示

メニュー つづき

サブメニュー

放送

メニュー名	設定項目
HDMI機器設定	HDMI機器選択
	スピーカー選択
オフタイマー	90分
	60分
	30分
	オフ
予約一覧	(予約リスト表示)
チャンネル設定	地上デジタル
	BS
	CS
3桁入力選択	3桁入力選局
視聴制限一時解除	暗証番号入力
アンテナレベル	アンテナレベル
枝番選局	枝番選局
信号切替	マルチビュー
	映像
	音声
	二重音声
	字幕
字幕言語	
データ放送表示切	—

番組表

メニュー名	設定項目
番組の検索	ジャンル検索
視聴制限の一時解除	暗証番号入力
番組データ取得	—
表示内容	設定チャンネル
	テレビのみ
	全チャンネル

HDMI 入力

メニュー名	設定項目
HDMI機器操作	番組選択
	ドライブ切替
	画面表示
	電源
	予約一覧
	リンクメニュー
	番組表
HDMI機器設定	セットアップメニュー
	AV System
	HDMI機器選択
HDMI機器設定	スピーカー選択
	オフタイマー
オフタイマー	90分
	60分
	30分
	オフ
予約一覧	(予約リスト表示)

録画リスト

メニュー名
USB HDD選択
視聴制限一時解除
プロテクト設定変更
番組名編集

主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

画面サイズ	50V型
アスペクト比	16:9
液晶パネル方式	VA
画素数(水平×垂直)	3840×2160
輝度	290cd/m ²
コントラスト比	5000:1
応答速度	8ms(GtoG)
バックライト搭載方式	直下型LEDバックライト
視野角	左右178°/上下178°
チューナー	地上デジタル×2 BS・110度CSデジタル×2
受信チャンネル	VHF(1~12ch)、UHF(13~62ch)、CATV(C13~C63)、 BSデジタル+CSデジタル:1032~2071MHz
入力端子	地上デジタル用F型端子(75Ω)×1 CS/BSデジタル用F型端子(75Ω)×1 コンポジットビデオ入力(3.5mm4極端子) HDMI×3(HDR10対応) データ放送用LAN端子×1 録画用HDDUSB端子×2 B-CASカードソケット(miniB-CASカード用)×1
出力端子	音声光デジタル出力(S/PDIF出力端子)×1 ヘッドホン用3.5mm音声出力端子×1
重量	約9.7kg(本体のみ)
寸法	1112.5×690.5×216.7(mm)
VESAマウントインターフェイス	200×200(mm) M6×25mm
動作温度範囲	0°C~40°C
動作湿度範囲	20%~80%(結露なきこと)
保管温度範囲	0°C~45°C
保管湿度範囲	20%~80%(結露なきこと)
使用電源	AC100V(50Hz/60Hz)
省エネ法区分	DF1
定格消費電力(待機時)	105W(0.5W)
年間消費電力	124kWh/年

よくある問い合わせ(FAQ)

Q.画面の手入れをしたいのですが、どのようにすればいいですか。

A. 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。化学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの溶剤、強力な洗剤は使用しないでください。

Q.液晶テレビはリサイクル対象ですか。

A. 2009年4月1日から液晶テレビが家電リサイクル法の対象品目として追加されました。電気店や自治体、リサイクルショップへ「製造業者等名コード:752」、「品目コード:52」とお申し付けの上、処分を依頼してください。

Q.リモコンでテレビの電源が入りません。

A. 待機表示ランプ(赤)が点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかを確認の上、テレビの電源ボタンを押して電源を入れてください。待機表示ランプ(赤)が点灯しているのにリモコンでテレビの電源が入らない場合は、リモコンの電池(単4形マンガン乾電池2本)を新品に交換してください。

Q.電源を入れた状態でテレビの背面をふき掃除すると、電源が切れたり、画面表示が消えたりします。

A. 電源を入れた状態でテレビの背面をふき掃除すると、クリーニングクロスなどの材質によっては静電気が生じ、テレビ内部の電気回路に影響を与え、自動的にテレビの電源が一度切れて再度電源が入ったり、画面表示が一度消えて再度画面が表示したりすることがありますが、テレビを正常な状態に保つための動作となりますので、異常ではありません。なお、頻度によっては、故障を引き起こす可能性がありますので、お手入れの際は、念のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

Q.アンテナ線(同軸ケーブル)が同梱されていません。

A. 壁などにあるアンテナ端子の形状やテレビまでの距離に合わせて、別途購入してください。

Q.B-CASカードは何に使用するのですか。

A. デジタル放送を視聴するために、付属するminiB-CASカードをテレビのminiB-CASスロット差し込む必要があります。なお、miniB-CASカードを紛失したり破損した場合は、株式会社ビーエス・コンディショナル アクセシテムズ(0570-000-261)へお問い合わせください。

Q.USB接続のマウスを使用することはできますか。

A. USB端子はUSBハードディスクを接続する録画用となりますため、マウスを接続して使用することはできません。リモコンを使用してください。

Q.パソコンのモニターとして使用するためにHDMI接続しているが、「この信号には対応していません」と表示される。

A. パソコンで設定された出力解像度がテレビの表示解像度に対応していない可能性がありますので、パソコンの出力解像度を調整してください。

Q.地上デジタル放送が正常に受信できません。

A.● アンテナレベルが推奨値以上にならない場合や特定のチャンネルが受信できない場合、映像が乱れる場合は、アンテナ信号が弱い可能性があります。

- ・ 老朽化や劣化などによってアンテナやアンテナ線が使用できない状態になっていないか、確認してください。
- ・ アンテナの向きを確認してください。
- ・ テレビに接続するアンテナ線のF型コネクターの芯線が折れていたり、曲がっていたり、短くないか、確認してください。
※ワンタッチコネクタを使用している場合は接触不良が発生しやすいため、F型コネクタの使用を推奨します。
- ・ ブースターを使用している場合、ブースターに電源が入っているか、確認してください。
- ・ 分配器(混合器、分岐器など)を使用している場合、接続経路に誤りがないか、接続状態が適切か、確認してください。
※アンテナからテレビまでの途中にレコーダーなどが接続されていると、減衰によってアンテナ信号が弱まる場合があります。

●中継局の近くなどで、アンテナレベルが推奨値以上になっているものの、ブロックノイズや映像の乱れが生じる場合は、アンテナ信号が強い可能性があります。

- ・ 減衰器(アッテネーター)を接続し、受信レベルを下げてください。

Q.BS/110度CSデジタル放送が正常に受信できません。

A.● アンテナレベルが推奨値以上にならない場合や特定のチャンネルが受信できない場合、映像が乱れる場合は、アンテナ信号が弱い可能性があります。

- ・ 老朽化や劣化などによってアンテナやアンテナ線が使用できない状態になっていないか、確認してください。
- ・ アンテナの向きを確認してください。
- ・ テレビに接続するアンテナ線のF型コネクターの芯線が折れていたり、曲がっていたり、短くないか、確認してください。
※ワンタッチコネクタを使用している場合は接触不良が発生しやすいため、F型コネクタの使用を推奨します。
- ・ ブースターを使用している場合、ブースターに電源が入っているか、確認してください。
- ・ 分配器(混合器、分岐器など)を使用している場合、接続経路に誤りがないか、接続状態が適切か、確認してください。
- ・ アンテナやアンテナ線、分配器(混合器、分岐器など)、ブースターなどがBS/110度CSデジタル放送に対応しているか、確認してください。
- ・ BS/110CSアンテナが必要とする電源を供給しているか、確認してください。
※「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「アンテナ設定」→「BS・110度CSアンテナ電源供給」から、「供給する」、「供給しない」を設定できます。
- ・ 視聴可能な契約を締結しているか、確認してください。

※荒天やアンテナへの積雪などによって、一時的にアンテナ信号が弱まる場合があります。

※アンテナからテレビまでの途中にレコーダーなどが接続されていると、減衰によってアンテナ信号が弱まる場合があります。

Q. CATVに加入していますが、地上デジタル放送は受信できますか。

A. 契約を締結しているCATV会社がパススルー方式で地上デジタル方法を送信している場合、受信可能です。

Q. VHF放送が受信できない。

A. 契約を締結しているCATV会社が周波数変換パススルー方式で地上デジタル放送をVHF帯で送信している場合、受信可能です。
RF変調機などのアナログ信号には対応していません。

Q. 夜間など自動的にUSBハードディスクの電源が入ります。

A. 「番組表取得などを自動」に設定すると、断続的にテレビ内部に通電されるため、連動してUSBハードディスクの電源が入る場合があります。

Q. USBハブを使用してUSBハードディスクを接続できますか。

A. USBハブを使用することはできません。

Q. USBハードディスクに録画した番組を、他のテレビやパソコンで再生することはできますか。

A. テレビに登録したUSBハードディスクは専用フォーマットされているため、他のテレビやパソコンで再生することはできません。
※他のテレビやパソコンとUSBハードディスクを共用しないでください。

Q. 電源が突然切れます。

A. ・電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか、確認してください。
・「オフタイマー」を設定している場合、「オフタイマー」を「オフ」にしてください。

Q. 音声が出ません。

A. ・「音量」が低くなっていたり、「消音」になっていないか、確認してください。
・メニューから「音声同時出力」を「しない」に設定している場合はテレビのスピーカーから音が出ないため、「する」に変更しテレビのスピーカーから音声が出力されるかご確認ください。
・接続した機器かのスピーカーから音声が出力されない場合は、機器を接続しなおし、「デジタル音声出力」設定や「HDMI機器設定」をご確認ください。

Q. 番組表に番組が表示されません。

A. 「主電源を切った状態」や「番組表の自動更新が行われていなかった場合/をオフに設定されている場合」には、番組表に番組が表示されません。テレビを視聴したまましばらくお待ちください。

Q. チャンネルの切り替えに時間がかかる。

A. まれにアンテナ信号の処理に時間がかかり、チャンネルの切り替えに時間がかかる場合があります。

Q. 録画したはずの番組が録画されていない。

A. ・USBハードディスクの電源が入っていなかった場合やUSBハードディスクの空き容量がなかった場合、録画できません。
・番組情報が取得できなかった場合や放送開始時間が変更された場合、録画できません。

Q. USBハードディスクが認識されない。

A. テレビのUSB(録画用)端子にUSBハードディスクが正しく接続されているか、ご確認ください。
※「登録」可能なUSBハードディスクは1台あたり4TBまで、最大8台となります。

Q. 画面上、いつも点灯している点やまったく点灯しない点があります。

A. 液晶パネルは精密な技術によって製造しているため、問題のない画素が99.99%以上を占めるものではありませんが、ごくわずかに点灯しない画素やいつも点灯する画素があります。故障ではありません。

Q. リモコンでテレビの電源が入らない。

A. 待機表示ランプ(赤ランプ)が点灯しない場合は、電源プラグがコンセントに正しく挿しこまれているかをご確認の上、テレビ背面の電源ボタンを押して電源を入れてください。
待機表示ランプ(赤ランプ)が点灯しているのリモコンでテレビの電源が入らない場合は、リモコンの電池(単4形マンガン乾電池2本)を新品に交換してください。

Q. バスパワーのHDDやSSDを接続して録画可能か

A. バスパワーでSSDやHDDを動作させる場合、十分な電力が供給できず、録画を失敗する可能性があります。
必ずセルフパワーのHDDをご利用ください。

Q. USBメモリーに録画できますか

A. 十分な書き込み速度が得られずに、録画を失敗する可能性があります。

Q. 同時に録画できる番組数はいくつですか

A. 同じ時間に録画できる番組は、1番組のみです。

Q. 壁掛け金具や、壁よせスタンドに取り付けたい

A. TV背面にVESA200×200 (20cm × 20cm)のネジ穴がありますので、こちらをご利用ください。
具体的な取付方法は、スタンドや、壁掛け業者とご相談ください。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-6687-4007
受付時間	10:00 ~ 18:00(365日受付)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・故障やご使用上のご質問は、サポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAX でお問い合わせください。
- ・お問い合わせの前に、取扱説明書や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・サポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

付属品のお買い求めは『グリーンハウス ストア』をご確認ください。

グリーンハウス ストア ホームページ

<https://www.greenhouse-store.jp/>

お買い替えや廃棄をされる場合は、電器店やリサイクルショップ、自治体へリサイクルをご依頼ください。
リサイクルをご依頼の際は、製造業者等コード：**752**、品目コード：**52**とお伝えください。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 18:00 (365日受付)

テクニカルサポートダイヤル

03-6687-4007

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問はテクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F

<https://www.green-house.co.jp>